

平成 16 年度〔第 16-K2455-01 号〕二級河川巴川  
総合治水対策特定河川に伴う自然環境調査業務委託（その 2）

## 報 告 書

平成 17 年 3 月

静岡県静岡土木事務所

特定非営利活動法人麻機湿原を保全する会

# 目 次

	頁
I. 業務計画	1
1. 業務の目的	〃
2. 業務の目的対象範囲	〃
3. 業務フロー	2
4. 業務の内容	〃
5. とりまとめの方法	6
(1) 資料収集	〃
(2) 河道状況調査	〃
(3) 植物調査	〃
(4) 魚類調査	7
(5) 鳥類調査	〃
II. とりまとめ	8
1. 資料収集(既往文献調査票)	1～2
2. 河道状況調査	
(1) 巴川	1～45
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21
3. 植物調査	
(1) 巴川	1～45
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21
4. 魚類調査	1～103
5. 鳥類調査	
(1) 巴川	1～47
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21

## 協議書

第1回目 平成16年9月21日(火)

第2回目 平成16年10月6日(水)

第3回目 平成16年11月2日(火)

第4回目 平成17年2月18日(金)

## 大沢川河道状況調票

図面番号	21-1	距離	0K000 ~ 0K200	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層		
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M		
	勾配	- 1/392		
	河床状況	泥砂		
	河道状況	河道は上流に向かって左にカーブしている。この付近の工場からとみられる排水は濁り透明度がない。		
	河幅	河道幅	13.00m	
		水面幅	6.00m	
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく魚類や水生植物はみられない。	
		右岸	管理用道路は川久保橋より約95mはない。	
		左岸	護岸天端にフェンスが設けられている。	
その他				

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-2	距離	0K200	～	0K400	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/20000				
	河床状況	泥・砂・礫				
	河道状況	大曲橋の右岸上下流に洲がみられる。滞筋は平瀬である。水深は0.2m程度。				
	河幅	河道幅	13.00m			
		水面幅	6.50m			
	特記事項	生物の生息空間	大曲橋付近より魚類がみられる。			
		右岸	管理用道路はなく民地になっている。			
		左岸	管理用道路はあるが幅員は(4.0~2.0m)一定ではない。護岸天端に柵が設けられている。			
その他		付近の住民からの聞き取り調査では、「昭和40年代より水はきれいになってきたがこの1年前よりさらにきれいになっている」と言う。				

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道      2-2 砂河道      2-1 : 砂利河道      1 : 扇状地河道      M : 山地河道  
 (1/5000~水平)      (1/2000~1/5000)      (1/400~1/2000)      (1/60~1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-3	距離	0K400	～	0K600	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/303				
	河床状況	砂・砂利・礫				
	河道状況	水深0.2～0.4m程度で透明度がある。 この区間は洲もなく滞筋は平瀬で安定している。				
	河幅	河道幅	12.30m			
		水面幅	6.30m			
	特記事項	生物の生息空間	河床は砂・砂利で魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	管理用道路はなく民地になっている。			
		左岸	住民が植えた草花や灌木が育っている。柵が設けられている。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-4	距離	OK600	～	OK800
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層			
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M			
	勾配	1/2857			
	河床状況	砂・砂利・礫 (0.1~0.15mのものもある)			
	河道状況	水深は 0.1~0.2m で河床材 (礫) によっては、その場所に早瀬がみられる。この区間では魚類の群集がみられる。			
	河幅	河道幅	9.50m		
	水面幅	7.00m			
特記事項	生物の生息空間	砂・砂利・礫による河床材が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
	右岸	管理用道路の幅員は 1.5m 程度である。			
	左岸	櫟橋右岸の一部は土羽になっている。			
	その他	・本川の調査ではこの付近から船越橋付近までの間にコサギの飛来をみた。			

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道      2-2 砂河道      2-1 : 砂利河道      1 : 扇状地河道      M : 山地河道  
 (1/5000~水平)      (1/2000~1/5000)      (1/400~1/2000)      (1/60~1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-5	距離	0K800	～	1K000	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/253				
	河床状況	砂・砂利・礫				
	河道状況	水深は0.1～0.2mで河床材は0.20～0.50m程度のものである。 舞鶴橋上流左岸（カーブの部分）に洲が形成され早瀬になっている。洲には水生植物が生育している。				
	河幅	河道幅	11.60m			
		水面幅	8.50m			
	特記事項	生物の生息空間	河床材に多様性がみられ魚類等の生息空間になっていると考えられる。 この区間にもコサギが飛来している。			
		右岸	護岸天端は幅員1.0m程度あり散策に利用されている。			
		左岸	管理用道路になっているが幅員は2.5～4.0m程度である。 潮入橋の下流には階段が設けられている。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-6	距離	1K000	～	1K200	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/512				
	河床状況	砂・砂利・礫 (0.2～0.3m)				
	河道状況	水深 0.2～0.5m で河床材は 0.2m～0.3m の礫がみられる。 潮入橋上流の左岸から流入している支川により洲が形成されている。				
	河幅	河道幅	10.30m			
		水面幅	7.00m			
	特記事項	生物の生息空間	河床材に多様性がみられ魚類等の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端に柵が設けられている。植樹帯や階段も設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道    2-2 砂河道    2-1 : 砂利河道    1 : 扇状地河道    M : 山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-7	距離	1K200	～	1K800
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層			
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M			
	勾配	1/483			
	河床状況	砂・砂利・礫・玉石			
	河道状況	水深は0.2～0.5mで河床材は0.2～0.6mの礫から玉石（寄石）がみられる。追分橋の上下の右岸に洲が形成され、金谷橋の下流には寄石があり、水生植物もみられる。			
	河幅	河道幅	14.80m		
		水面幅	6.00m		
	特記事項	生物の生息空間	河床材に多様性がみられ魚類の生息空間になっていると考えられる。魚類の群集がみられコサギもみられる。		
右岸		新追分橋の下流には植樹帯や階段が設けられている。金谷橋の下流には管理道がない。			
左岸		護岸はパラペットになっている。			
その他					

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-8	距離	1 K 400	～	1 K 600	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/217				
	河床状況	砂・砂利・礫・玉石				
	河道状況	河道は上流に向かってS字形をつくり、洲が形成され平瀬と早瀬がみられる。金谷橋の上流では玉石（寄石工）が多孔質の空間をつくっている。本川では最も多様性のある区間である。				
	河幅	河道幅	8.00m（JR東海道線の下流）			
		水面幅	5.30m			
	特記事項	生物の生息空間	滞筋は平瀬、早瀬、深ぼれがあり、洲や玉石（寄石工）は植物や魚類等の生息空間を形成している。			
		右岸	金谷橋から侍従免橋までの間には管理道がない。逆川が合流している。			
		左岸	侍従免橋上流の法面に玉石積など昔の工法もみられる。			
その他		金谷橋から侍従免橋の区間には植生護岸が施工されているが植付けられた植物から野草へと遷移している。				

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-9	距離	1K600	～	1K800	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/181				
	河床状況	砂・砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は0.1～0.2mで春日橋上流の堰の下は洄りになっていて水深1.0m程ある。春日橋より下流は早瀬がみられる。				
	河幅	河道幅	8.50m			
		水面幅	5.30m			
	特記事項	生物の生息空間	春日橋上流の堰の下は洄りでコサギが飛来し採餌している様子がみられる。			
		右岸	土羽法面の天端は桜並木になっている。			
		左岸	市道 421 号線には柵はなく護岸はパラペットになっている。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-10	距離	1K800	～	2K000	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/105				
	河床状況	砂・砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は0.1～0.2m河道はS字形をつくり、早瀬となっている。 大坪橋の下流では浮石や洲には水生植物もみられる。				
	河幅	河道幅	9.80m			
		水面幅	3.70m			
	特記事項	生物の生息空間	淵や浮石などの河床材は多様性があり魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	法肩は桜並木になっている。			
		左岸	同上			
その他						

### 参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-11	距離	2K000	～	2K200	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/217				
	河床状況	砂利・礫				
	河道状況	水深は0.1～0.3m、船原橋の上流（桜並木の植えられている場所）では、早瀬になっていて他の2河川にないせせらぎの音が聞こえる。				
	河幅	河道幅	10.00m			
		水面幅	4.00m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫の河床材は魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	船原橋の上流土羽法面の天端に桜並木が植えられている。			
		左岸	同上			
その他		住民の聞き取り調査では「最近河床が0.5m以上堆積し、一度に水が出るようになった」と言う。				

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-12	距離	2K200	～	2K400	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/416				
	河床状況	砂利・礫				
	河道状況	水深は0.1～0.2m、2つの歩行者専用橋付近は洲が形成され、No21-11と同様にせせらぎの音が聞こえる。				
	河幅	河道幅	10.20m			
		水面幅	2.20m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利や礫の河床材は魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	堤防になっていて桜が植えられ並木になっている。			
		左岸	同上			
その他		春日橋から船越橋までの間は他の2河川にない景観をつくりだしている。				

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-13	距離	2K400.	～	2K600	
河 川 特 性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/136				
	河床状況	砂利・礫				
	河道状況	水深 0.1～0.3m、左岸に流入する初産川からの流水によって法面が削られ洲が形成されている。船越橋の上流から早瀬になっている。				
	河幅	河道幅	8.20m			
		水面幅	4.30m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利や礫の河床材や水際線の水生植物などは魚類や昆虫などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	船越橋まで桜が植えられ並木になっている。			
		左岸	初産川の下流まで右岸と同様に桜並木になっている。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-14	距離	2K600	～	2K800	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/98				
	河床状況	礫・玉石				
	河道状況	水深 0.1m程、兩岸はコンクリートブロック積で、河床には浮石がみられる。河道は直線。				
	河幅	河道幅	8.00m			
		水面幅	2.00m			
	特記事項	生物の生息空間	礫や玉石の河床材は魚類の生息空間になっていると考えられる。流速が早く、水生植物はみられない。			
		右岸	護岸天端は安全柵が設けられている。			
		左岸	護岸天端は市道 4054 号線まではフェンスが設けられている。そこから上流に柵はない。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道      2-2 砂河道      2-1 : 砂利河道      1 : 扇状地河道      M : 山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-15	距離	2K800	～	3K000	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/103				
	河床状況	礫・玉石				
	河道状況	水深 0.1m以下、高砂橋上流の落差工より上流は三面コンクリート張、落差工の下は渕になっている。				
	河幅	河道幅	8.00m			
		水面幅	1.50m			
	特記事項	生物の生息空間	高砂橋の下流までは礫・玉石の河床材で魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端は安全柵が設けられている。			
		左岸	市道 4044 号線ではない区間には柵がない。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-16	距離	3K000	～	3K200	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ ●M				
	勾配	1/43				
	河床状況	コンクリート張				
	河道状況	水深 0.1m以下、この区間から河床はコンクリート張で流れの早い瀬となっている。				
	河幅	河道幅	3.00m			
		水面幅	1.30m			
	特記事項	生物の生息空間	三面コンクリート張で魚類等の生息空間は少ないと考えられる。			
		右岸	護岸天端に柵が設けられている。			
		左岸	護岸天端に柵が設けられている区間と設けられてない区間がある。			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-17	距離	3K200	～	3K400	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ ●M				
	勾配	1/47				
	河床状況	コンクリート張				
	河道状況	水深 0.1m以下、河床はコンクリート張で下流と同様に流れの早い瀬になっている。				
	河幅	河道幅	3.30m			
		水面幅	1.40m			
	特記事項	生物の生息空間	三面コンクリート張で魚類等の生息空間は少ないと考えられる。			
		右岸	護岸天端に柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道      2-2 砂河道      2-1 : 砂利河道      1 : 扇状地河道      M : 山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-18	距離	3K400	～	3K600	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ ●M				
	勾配	1/49				
	河床状況	コンクリート張				
	河道状況	水深 0.1m以下、河床はコンクリート張で下流と同様に流れの早い瀬になっている。				
	河幅	河道幅	3.30m			
		水面幅	1.00m			
	特記事項	生物の生息空間	三面コンクリート張で、魚類等の生息空間は少ないと考えられる。			
		右岸	護岸天端に柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-19	距離	3K600	～	3K800	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配					
	河床状況	コンクリート張				
	河道状況	水深0.1m以下、下流と同様に流れの早い瀬になっている。 写真②～⑥までは個人が橋を設けている。				
	河幅	河道幅	1.80m			
		水面幅	1.40m			
	特記事項	生物の生息空間	三面コンクリート張で、魚類等の生息空間は少ないと考えられる。			
		右岸	個人が架けた橋以外の区間には柵が設けられている。			
		左岸	護岸天端に柵はない。			
その他						

**参考文献**

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-20	距離	3K800	～	4K000	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	不明				
	河床状況	礫・玉石				
	河道状況	水深 0.1m以下、この区間より上流は礫・玉石の河床、護岸には玉石練積がみられる。				
	河幅	河道幅	2.00m			
		水面幅	2.00m			
	特記事項	生物の生息空間	礫・玉石は魚類等の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	周辺は畑。			
		左岸	同上			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道    2-2 砂河道    2-1：砂利河道    1：扇状地河道    M：山地河道  
 (1/5000～水平)    (1/2000～1/5000)    (1/400～1/2000)    (1/60～1/400)    (さまざま)

## 大沢川河道状況調査票

図面番号	21-21	距離	4K000	～	4K208	
河川特性	周辺の地形・地質	丘陵市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	不明				
	河床状況	砂・砂利・礫				
	河道状況	水深は0.1～0.2m、所どころに落差工が設けられている。 起点付近の山付では崩土がみられる。				
	河幅	河道幅	2.20m			
		水面幅	2.20m			
	特記事項	生物の生息空間	砂・砂利・礫の河床材は魚類等の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	周辺は畑と山林			
		左岸	同上			
その他						

### 参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

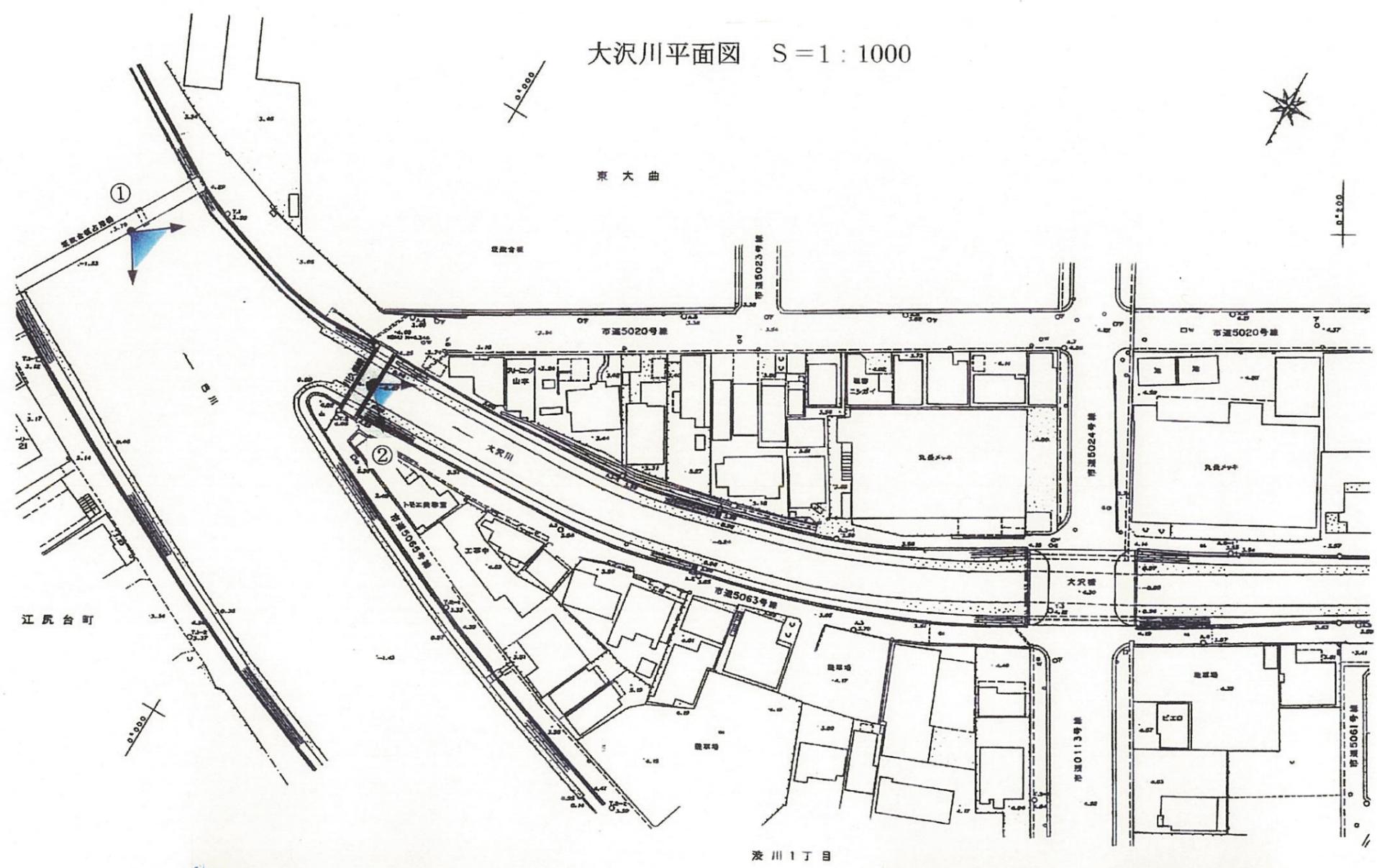
河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道      2-2 砂河道      2-1：砂利河道      1：扇状地河道      M：山地河道  
 (1/5000～水平)      (1/2000～1/5000)      (1/400～1/2000)      (1/60～1/400)      (さまざま)

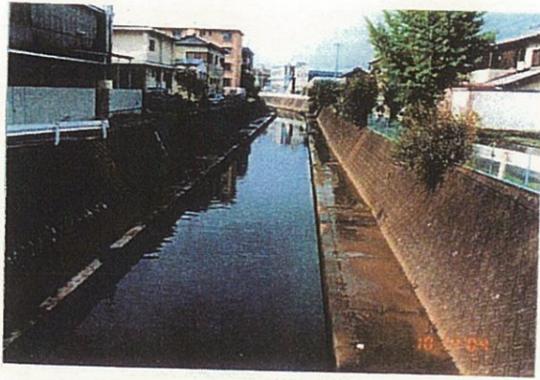
大沢川平面図 S = 1 : 1000



①板政合板占用橋より大沢川の河口を望む



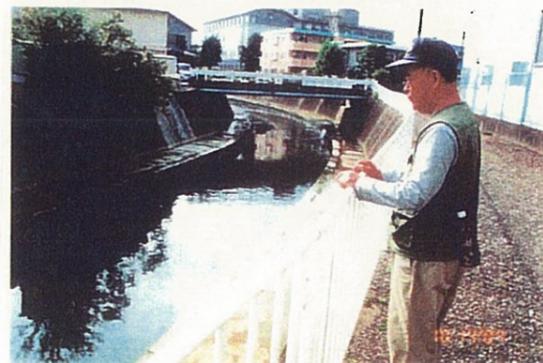
②川久保橋より上流を望む  
市道 5063 号線 (上流へ)



①大沢橋より上流を望む



②大曲橋を望む



③付近住民からの聞き取り調査



④大曲橋下の洲を望む

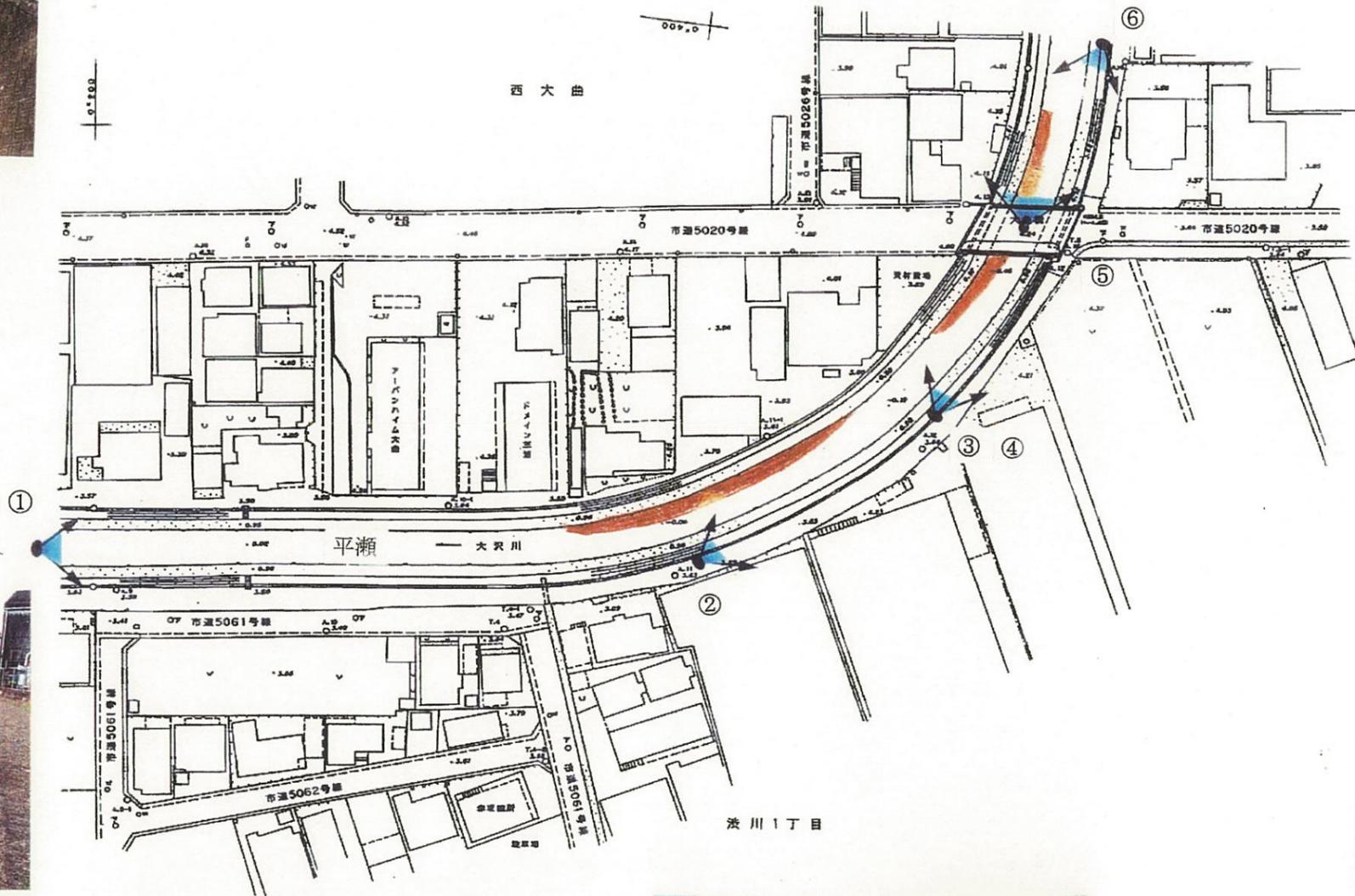


⑥大曲橋の上流から洲を望む

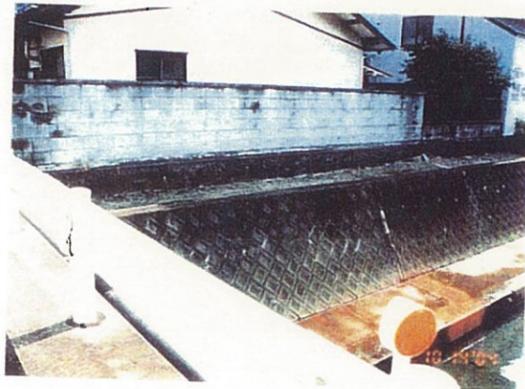
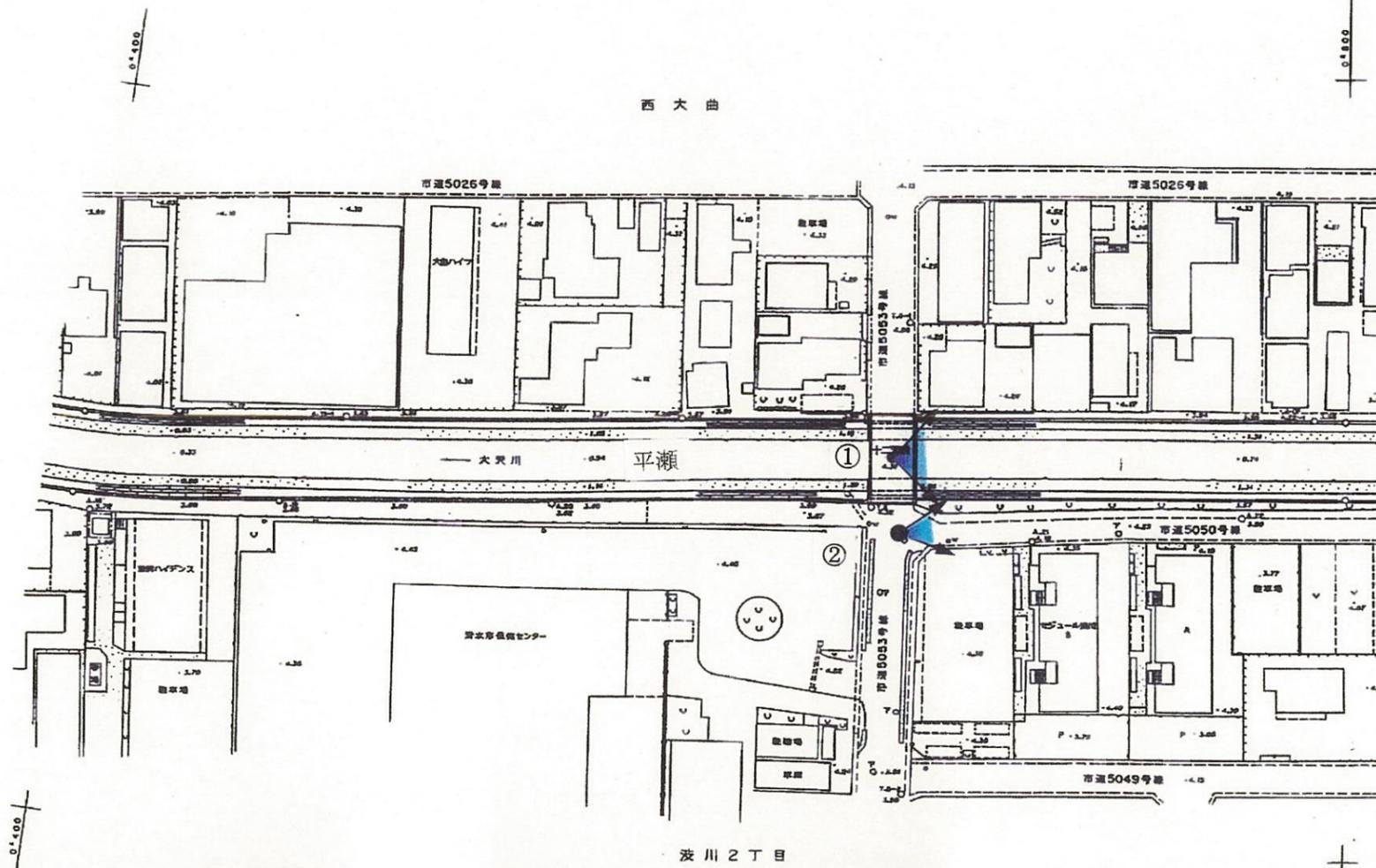


⑤大曲橋より上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



大沢川平面図 S = 1 : 1000



①十二天橋から右岸の状況を見る

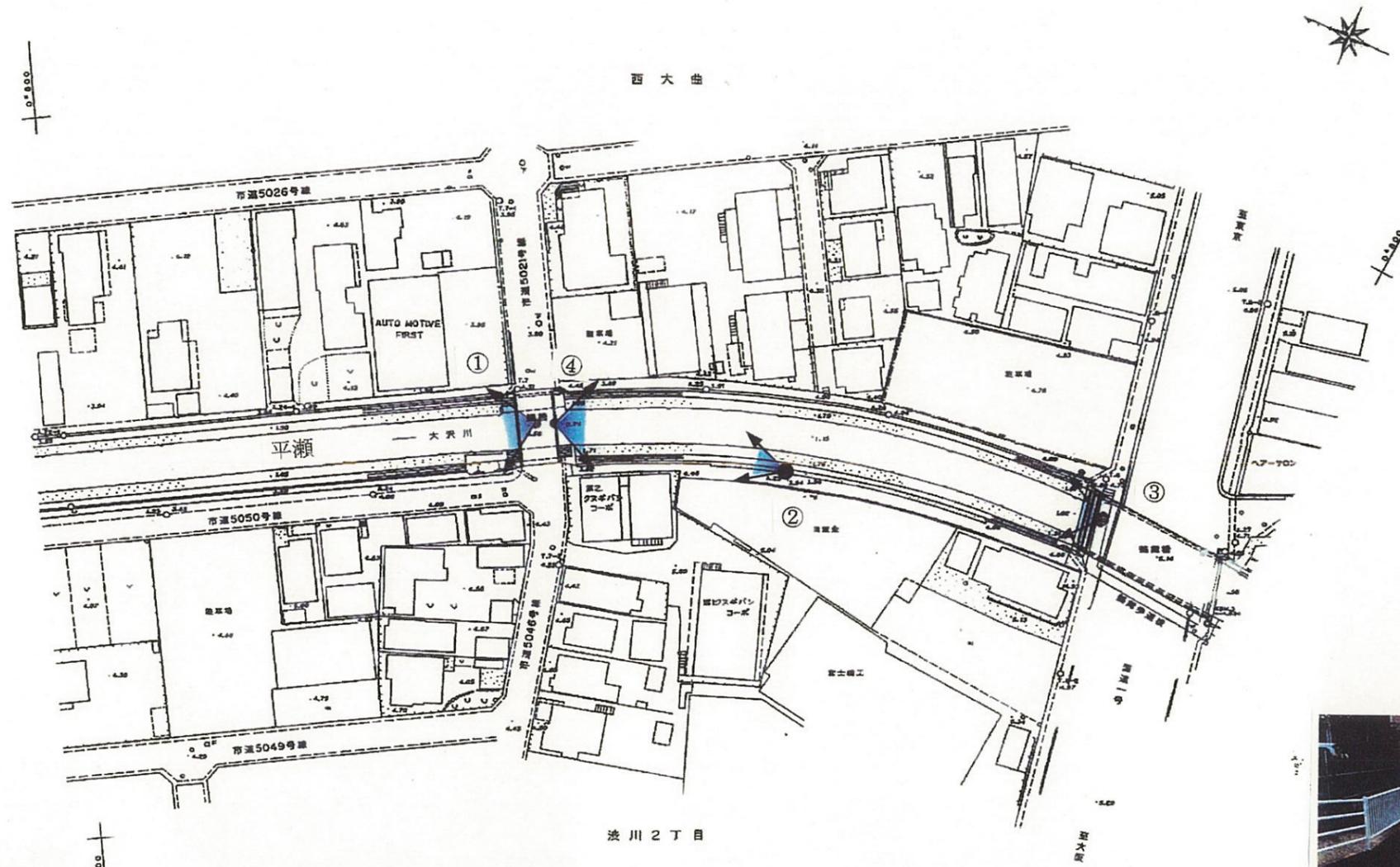


①十二天橋から上流を望む

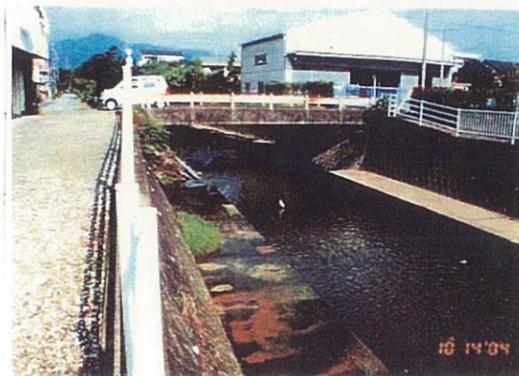


②市道 5050 号線 (上流へ)

大沢川平面図 S=1:1000



① 榎橋より下流を望む



② 上流左岸より榎橋を望む

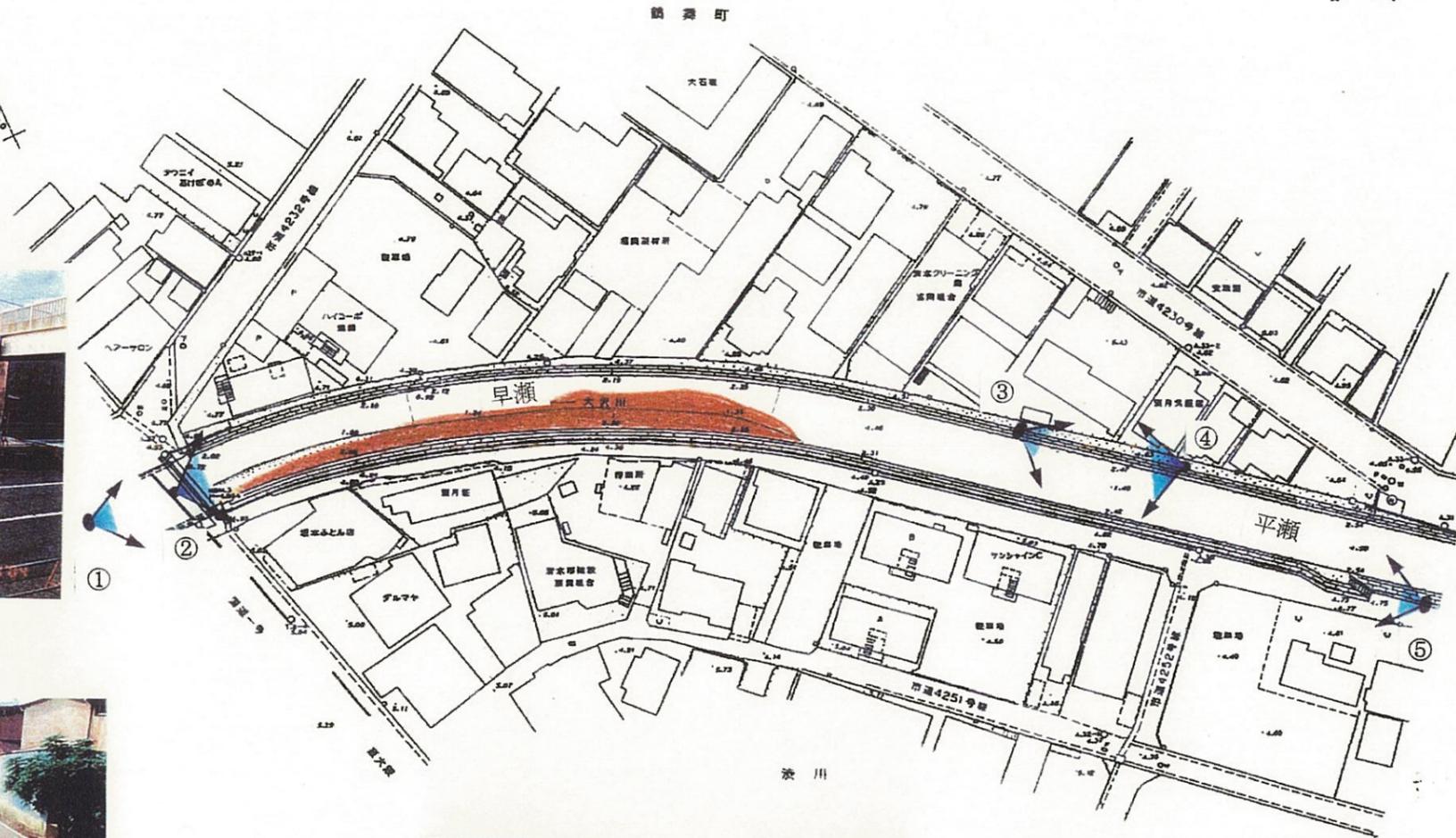


③ 舞鶴橋から下流を望む



④ 榎橋から上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



①舞鶴橋の下流から上流を望む



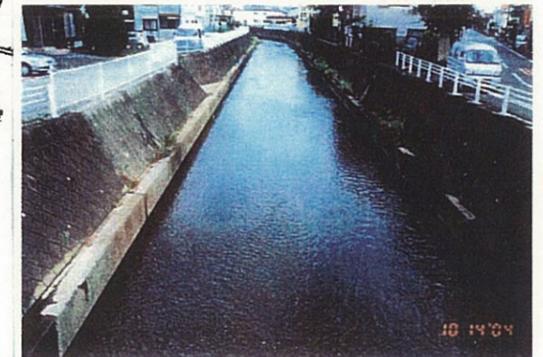
②歩道橋から上流を望む



④下流の早瀬を望む



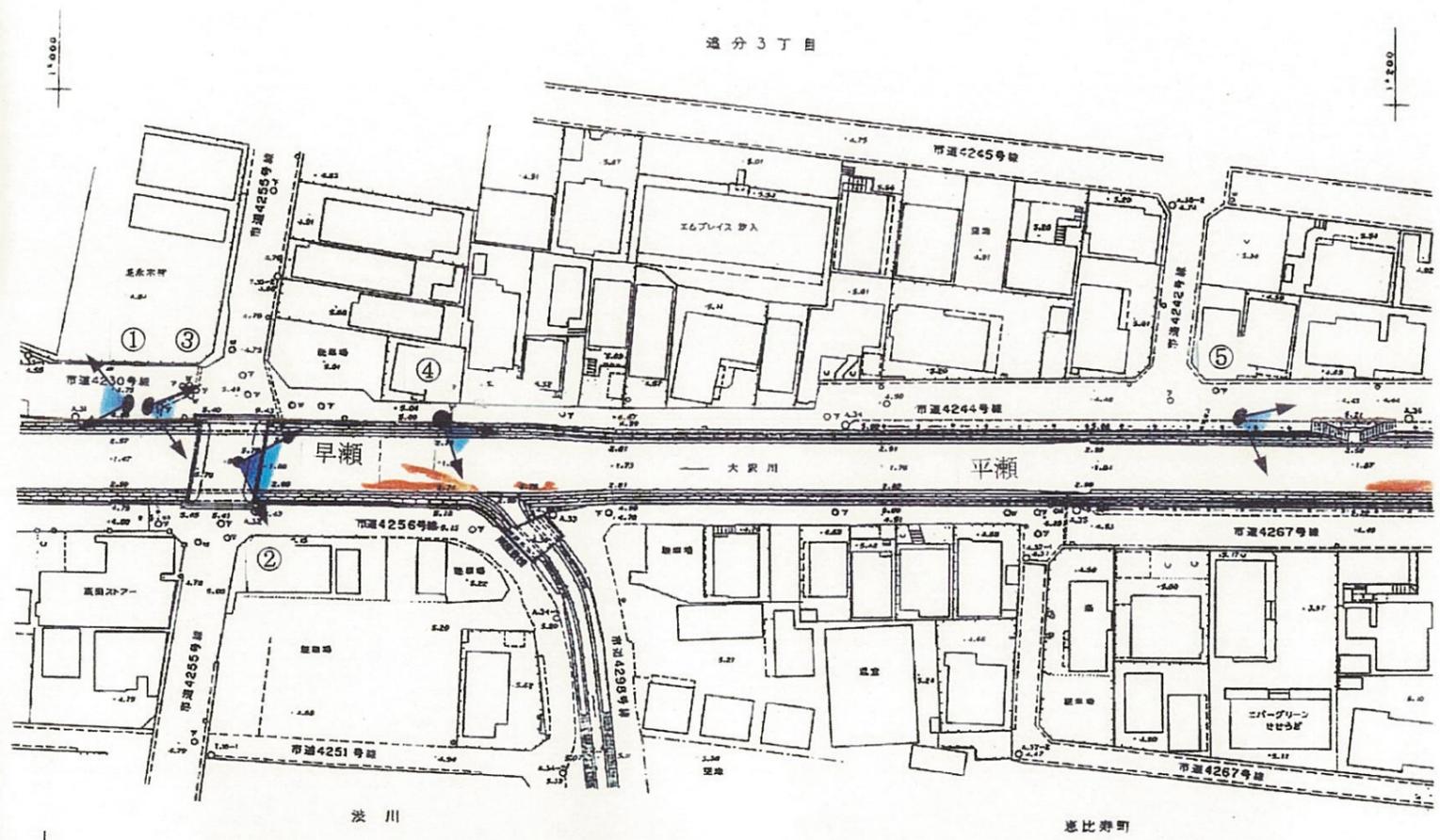
③右岸(護岸)から上流を望む



⑤下流を望む

平成 9年 2月 修正

大沢川平面図 S = 1 : 1000



①入江耕地整理記念碑



②潮入橋より上流を望む



③潮入橋の下流より上流を望む



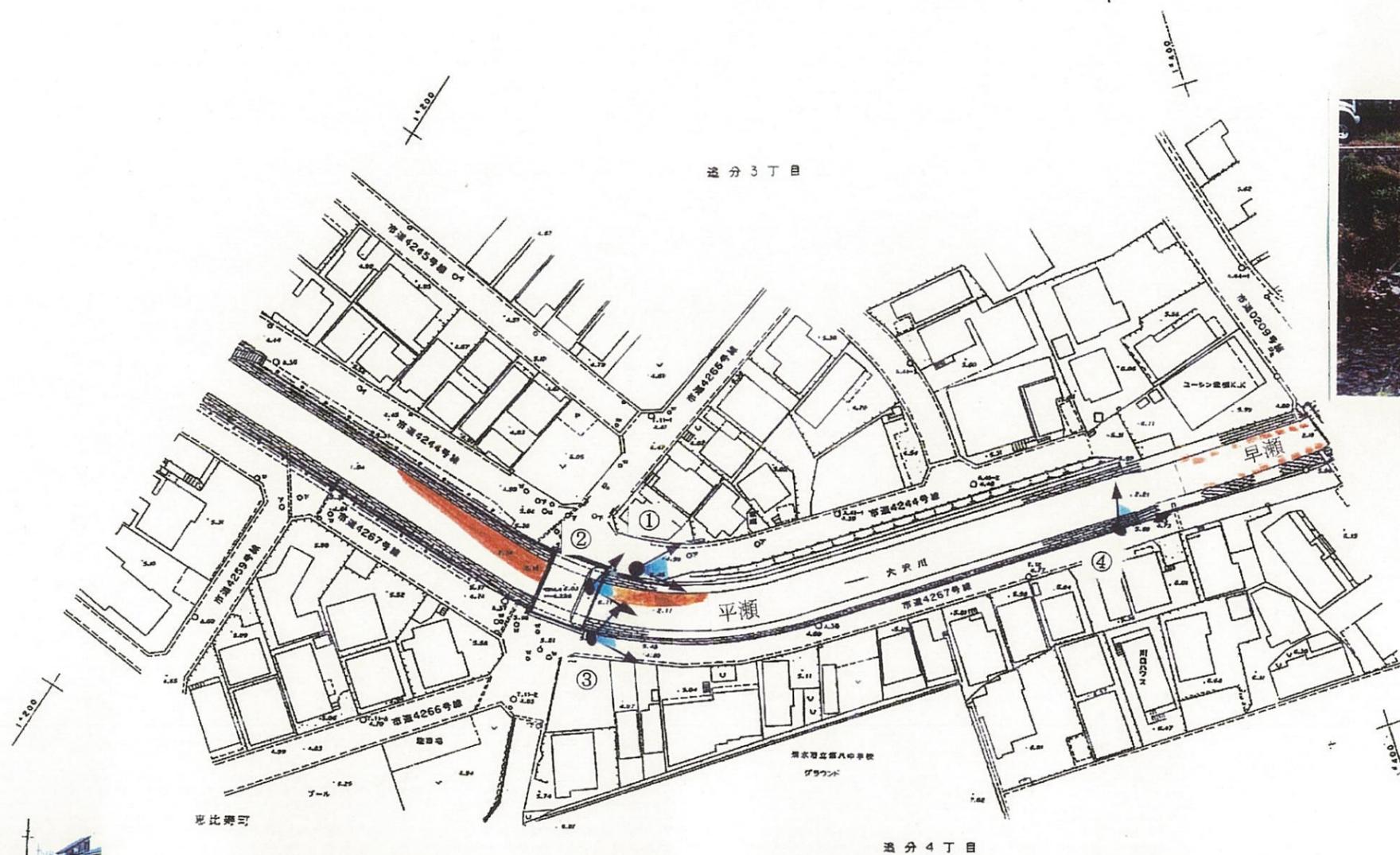
④支川流入口付近の状況



⑤上流を望む

平成 9年 2月 修正

大沢川平面図 S=1:1000



④上流の金谷橋を望む



①市道4244号線(上流へ)



②新追分橋より上流を望む



③市道4267号線(上流へ)

平成9年2月修正

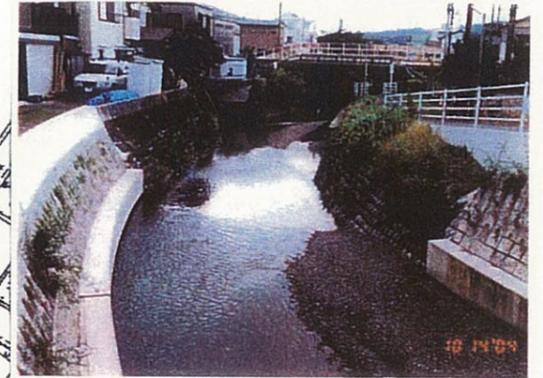
大沢川平面図 S=1:1000



①右岸の水際には0.5~0.6m程の玉石(転石)があり、左岸にはオギなどの水生植物が生育している。



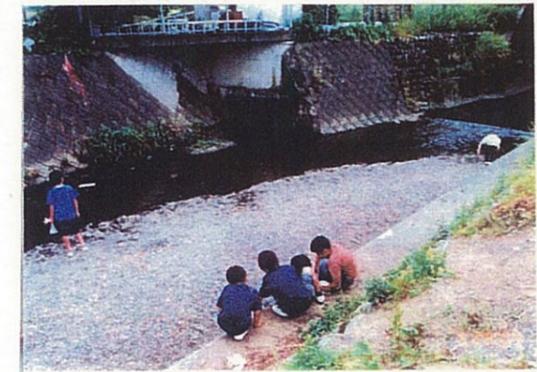
②旧東海道金谷橋



⑧侍従免橋から上流のJR東海道線・静岡鉄道を望む。左右岸には洲が形成され平瀬~瀬が見られる。



⑥ 免橋から下流の金谷橋を望む。左岸には洲がみられる。



⑦ 水辺で遊ぶ子どもたち



③左岸のオギ群落、右岸の水際には0.5~0.6m程の玉石(転石)がみられる。



④上流の侍従免橋を望む、逆川の合流する右岸には洲がみられ、河道は早瀬~平瀬もつくられ、大沢川では最も多様性のある地区の一つである。

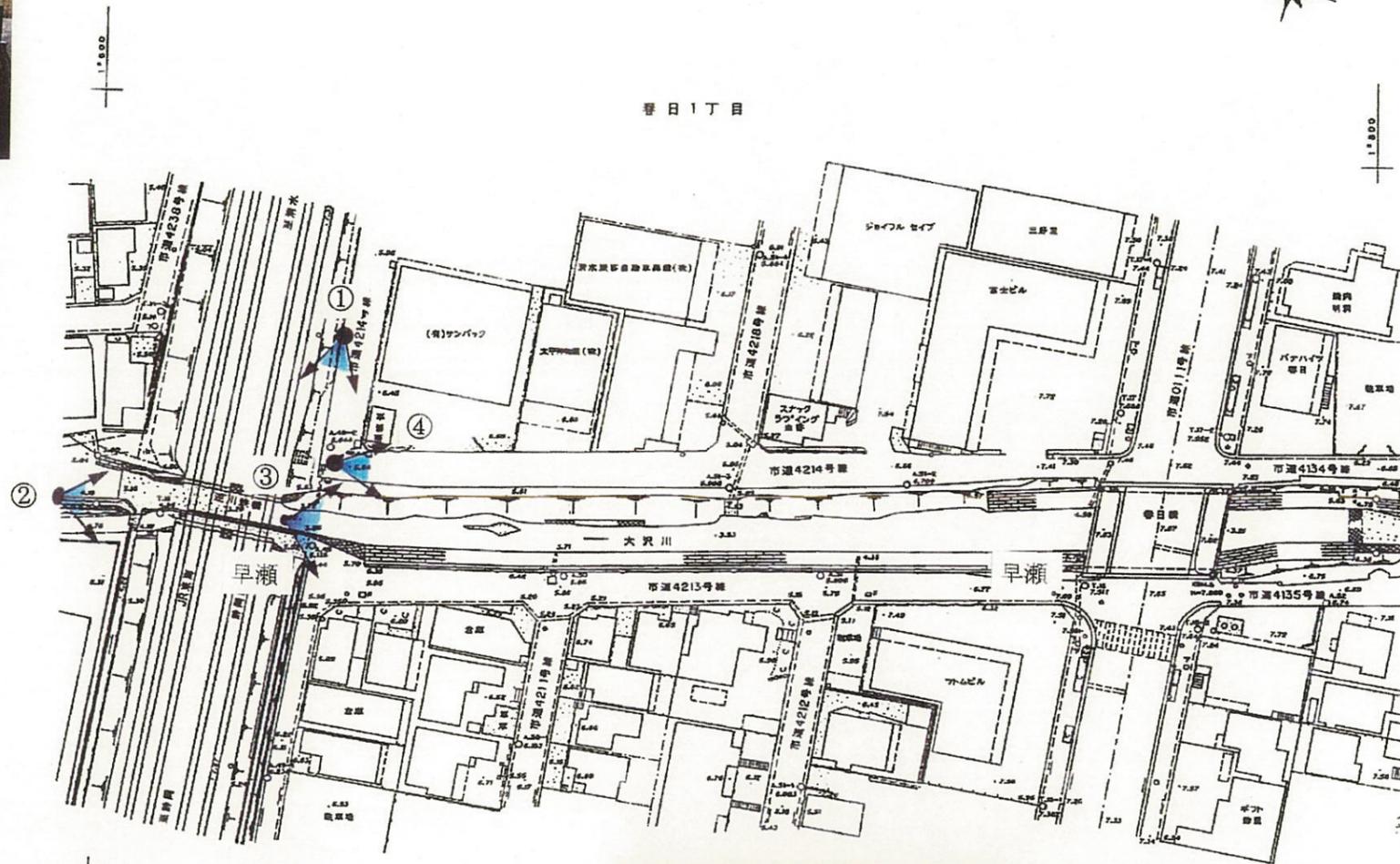


⑤ JR東海道本線・静岡鉄道橋の下は狭窄部で、この地点は早瀬と洩(深ぼれ)、左岸には洲もみられる。

大沢川平面図 S=1:1000



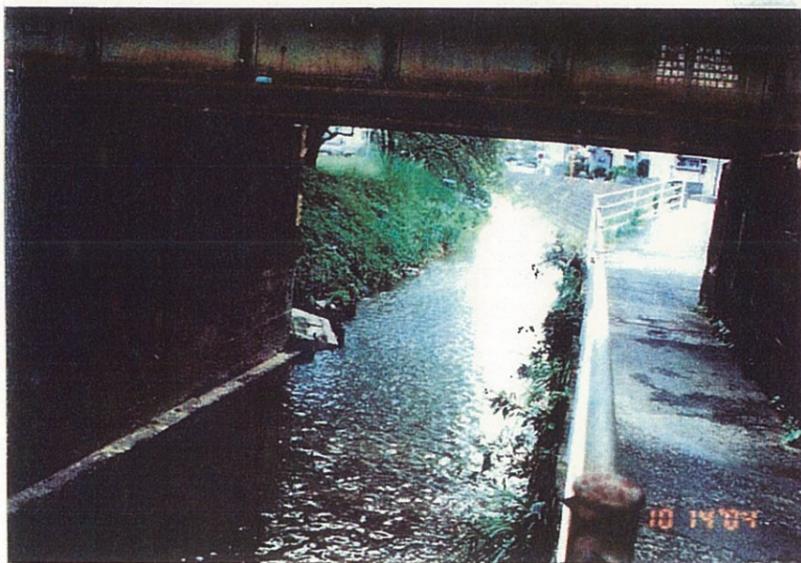
春日1丁目



①静岡鉄道と併設の歩道橋



④市道 4214 号線 (上流へ)

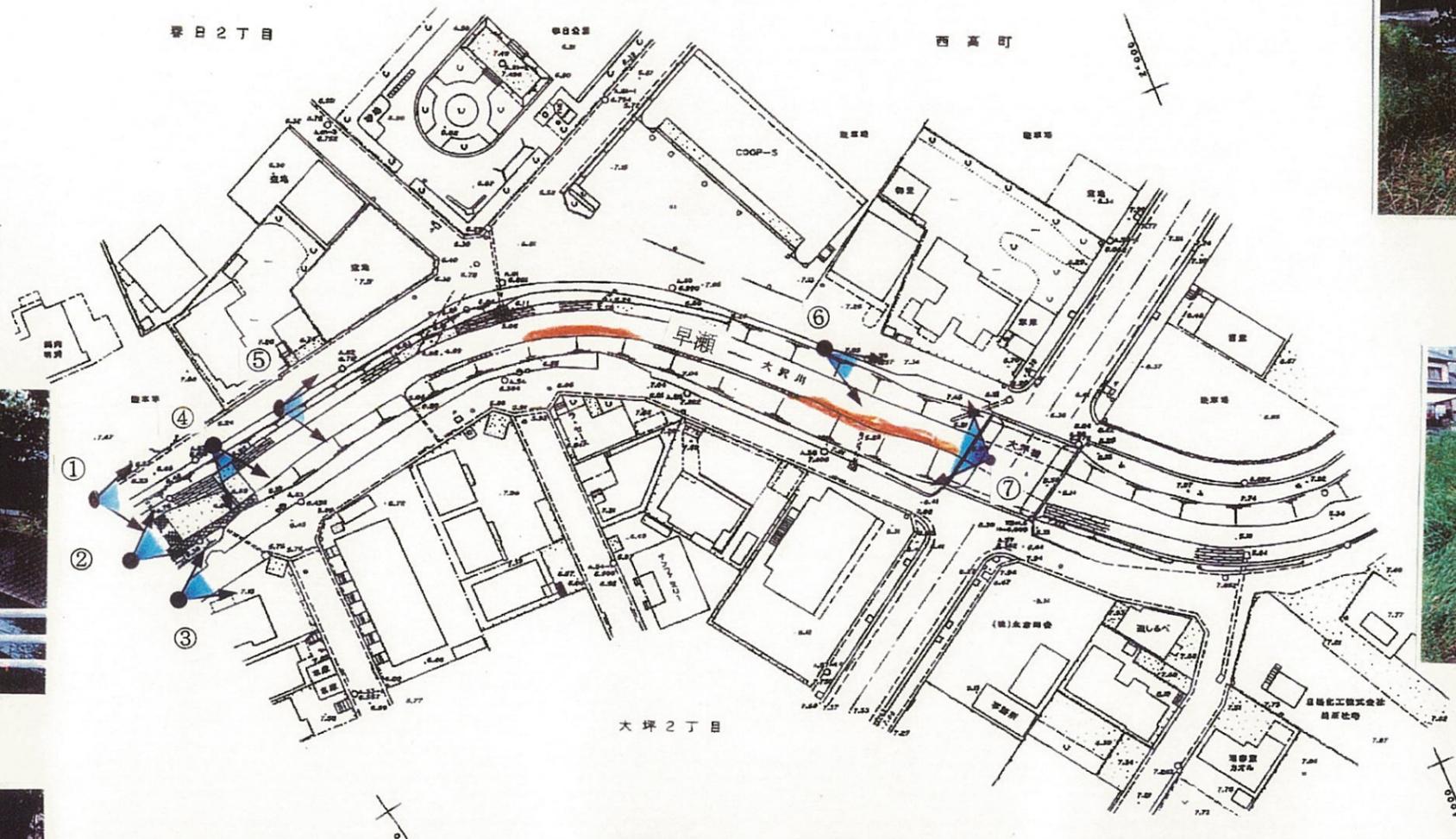


②JR東海道線と静岡鉄道の下を流れる (狭窄部)



③歩道橋より上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



⑥大坪橋左岸を望む



⑦大坪橋より下流を望む



①市道 4134 号線 (上流へ)



②春日橋より上流を望む



④春日橋上流の堰



⑤この視点場より上流を望む



③市道 4213 号線 (上流へ)

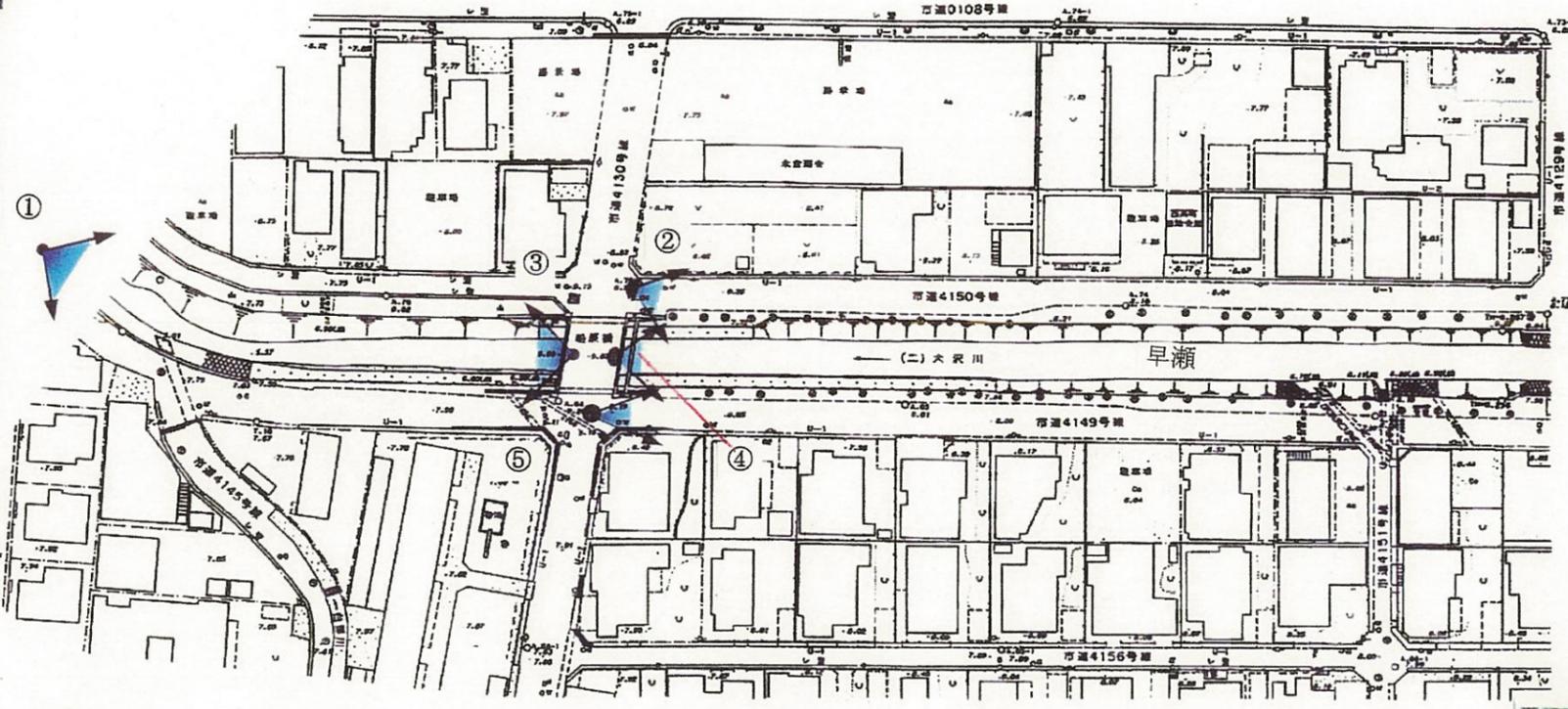
大沢川平面図 S=1:1000



②市道 4150 号線 (上流へ)



③船原橋より下流を望む

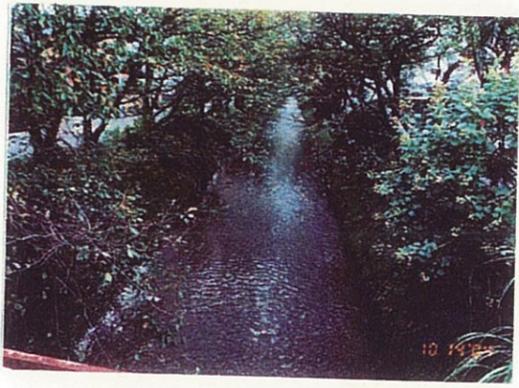


大坪二丁目

船原一丁目



①大坪橋より上流を望む



④船原橋より上流を望む

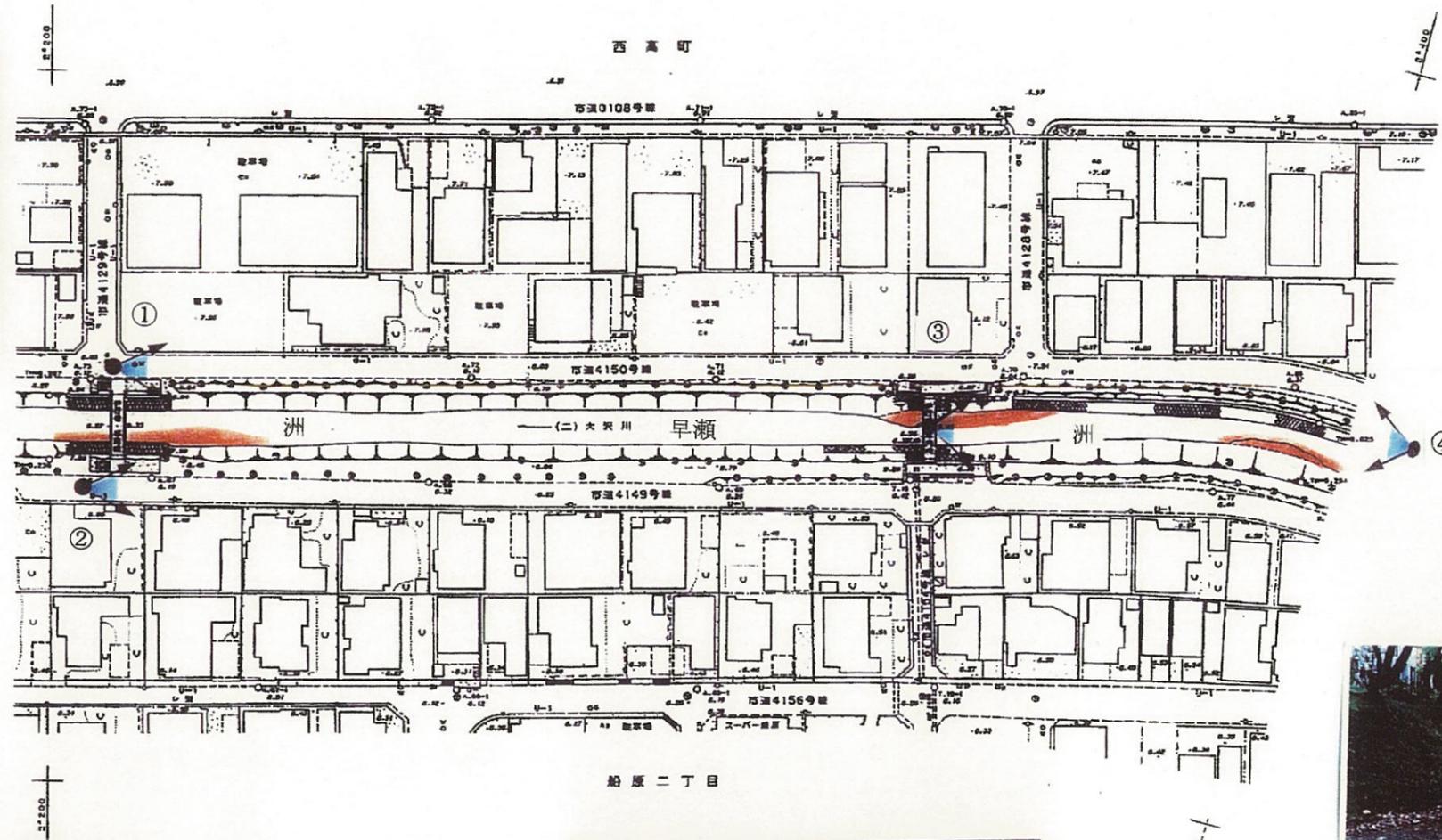


⑤市道 4149 号線 (上流へ)

大沢川平面図 S=1:1000



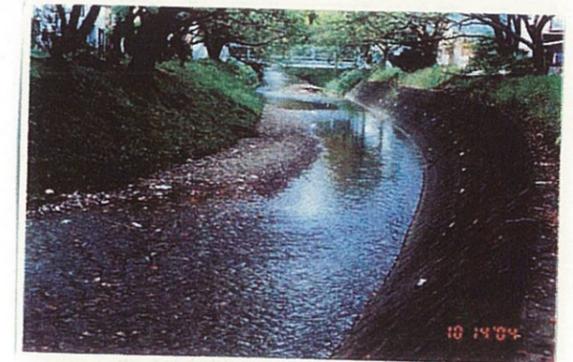
①市道 4150 号線 (上流へ)



②市道 4149 号線 (上流へ)

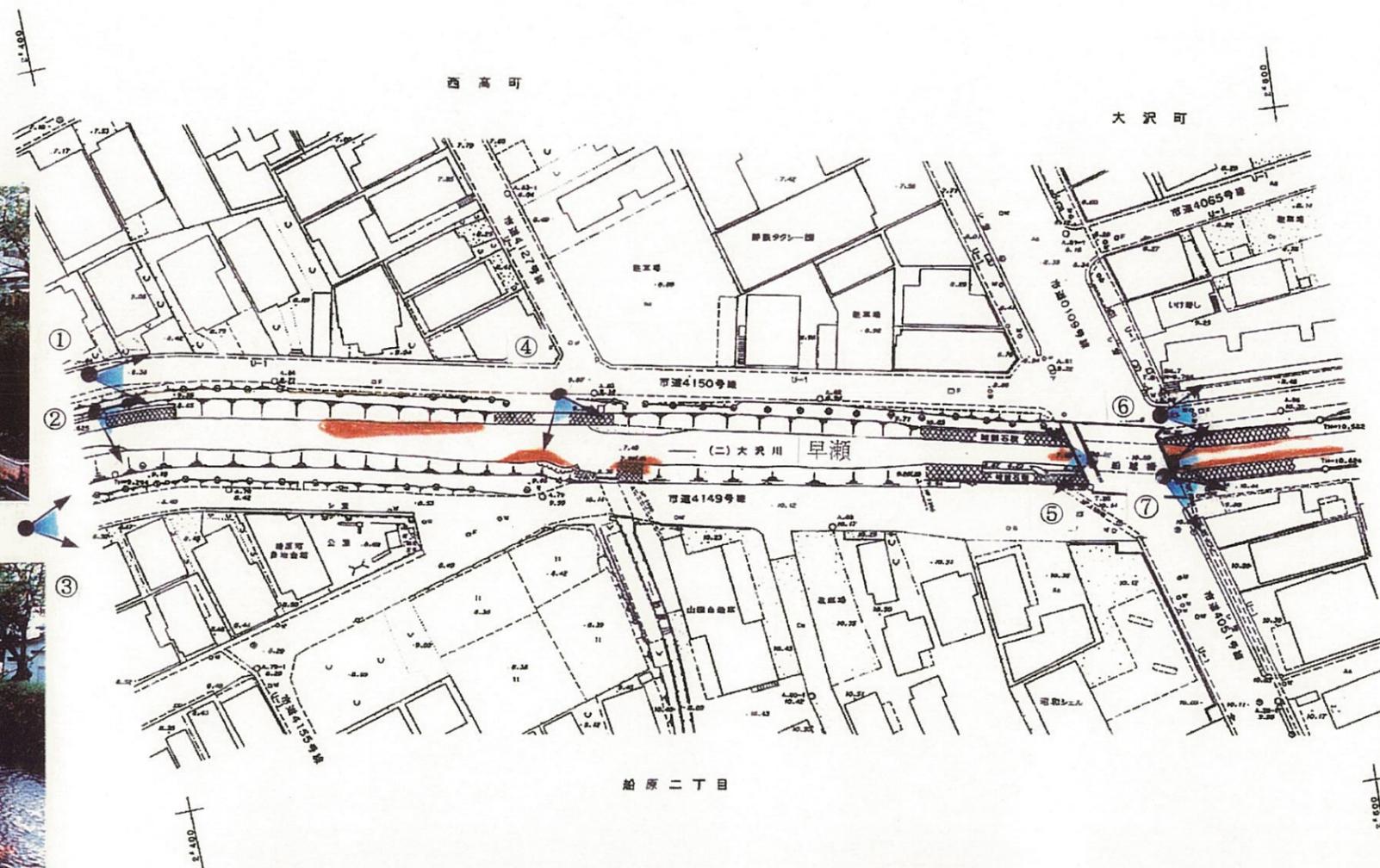


③歩行者専用橋より下流を望む



④この視点場より下流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



⑥市道 4150 号線 (上流へ)



⑦船越橋より上流を望む



①市道 4150 号線 (上流へ)



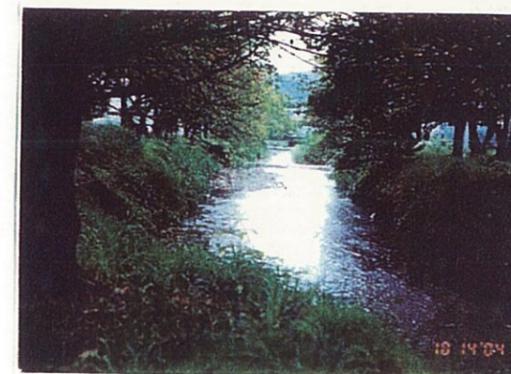
②この視点場より上流を望む



③市道 4149 号線 (上流へ)

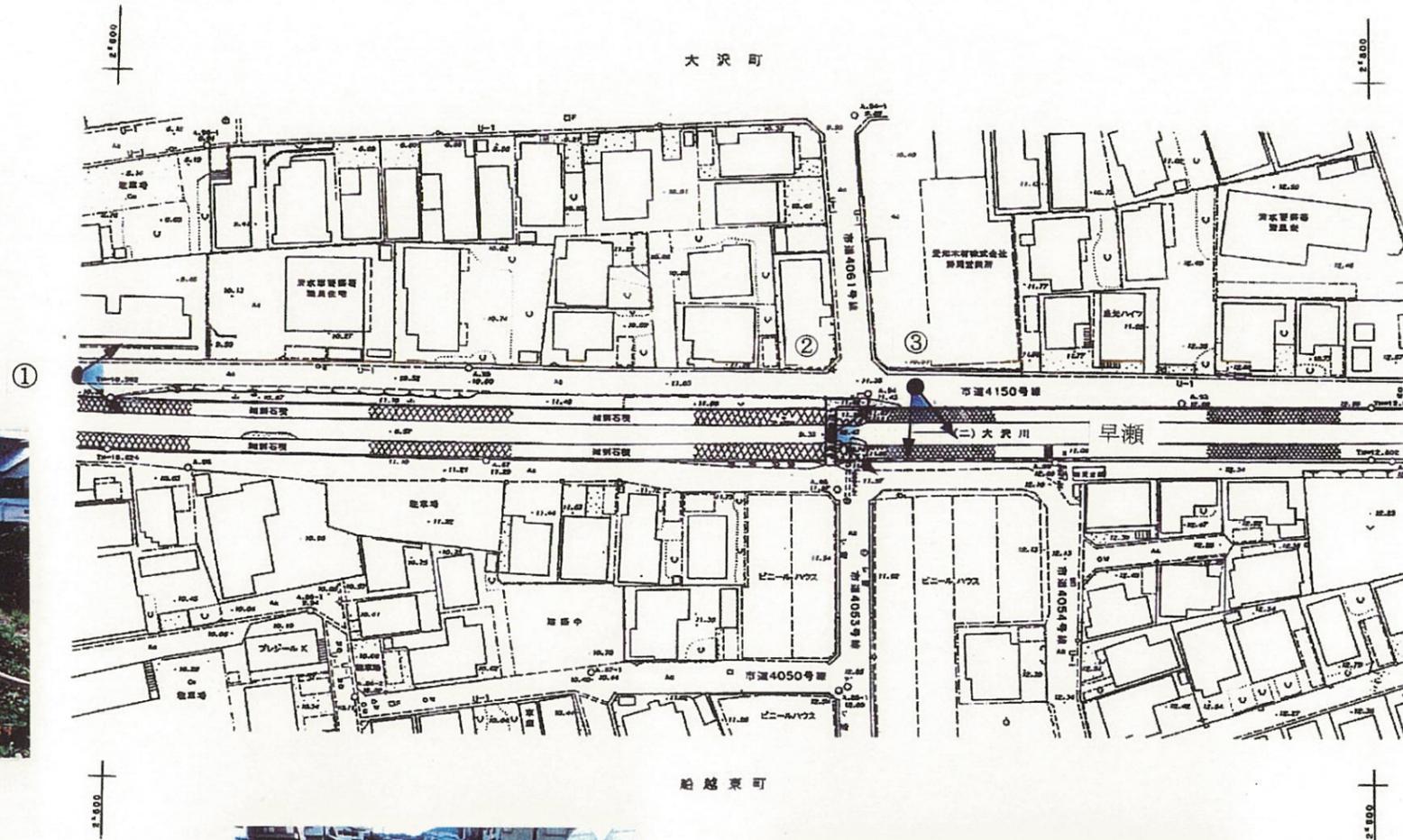


④左岸の法面決壊の状況

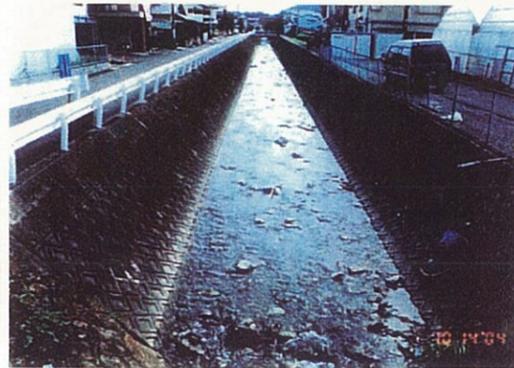


⑤船越橋より下流を望む

大沢川平面図 S = 1 : 1000



①市道 4150 号線 (上流へ)



②歩行者専用橋より上流を望む

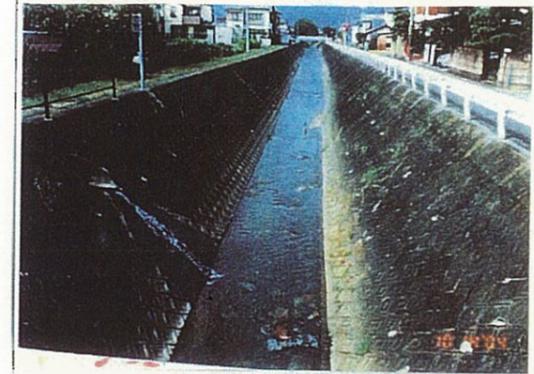


③同左上流の早瀬

大沢川平面図 S=1:1000



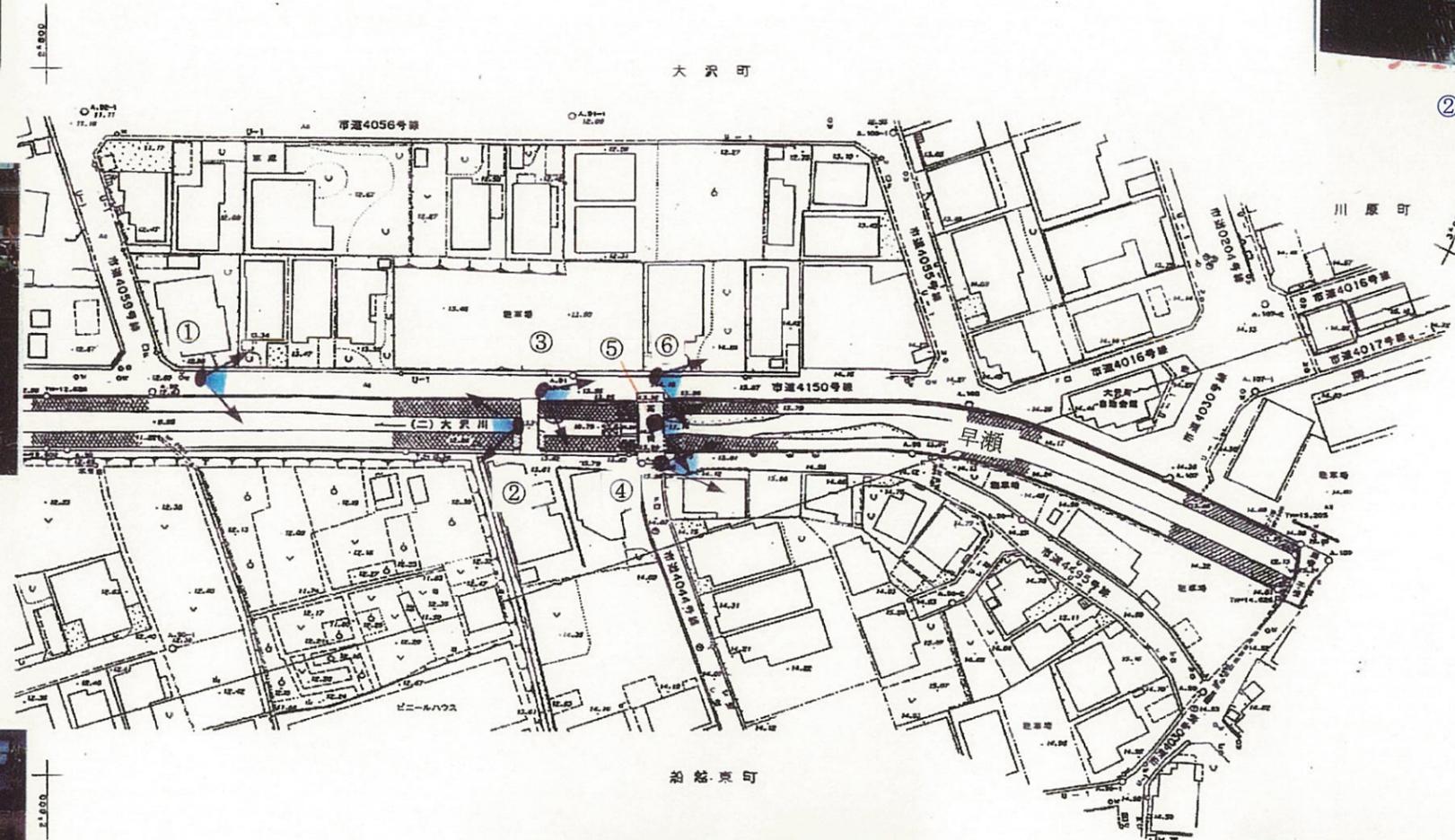
①市道 4150 号線 (上流へ)



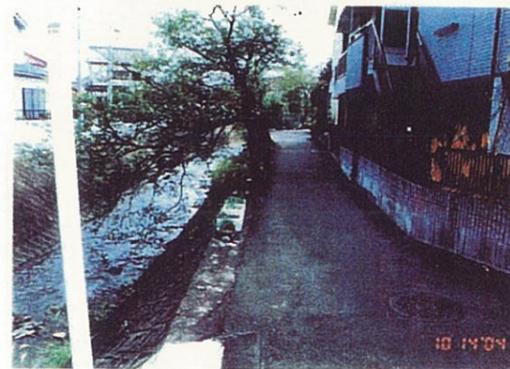
②小橋より下流を望む



③高砂橋を望む



⑤小橋より高砂橋を望む

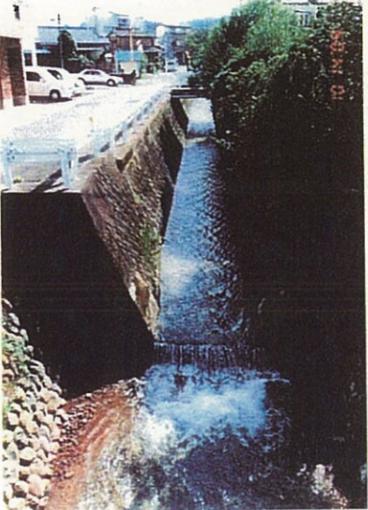
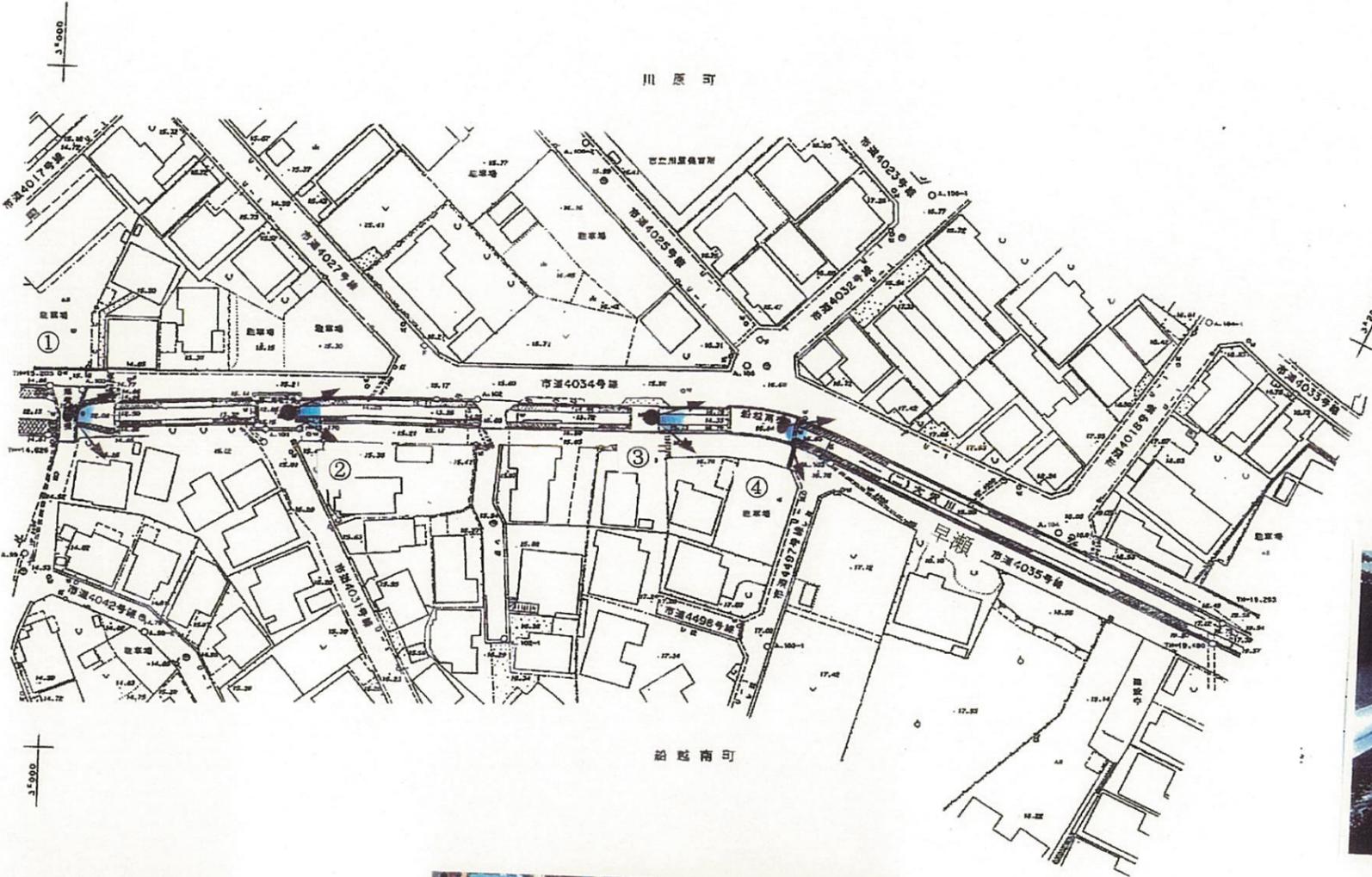


④この視点場より上流へ

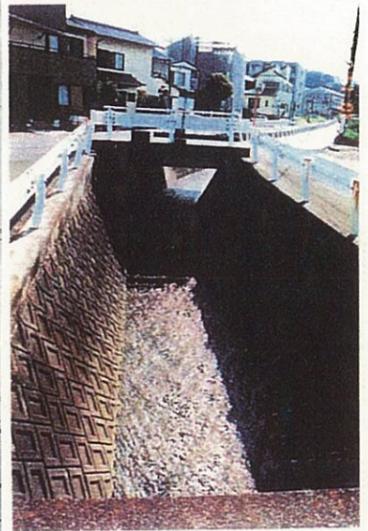


⑥高砂橋より上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



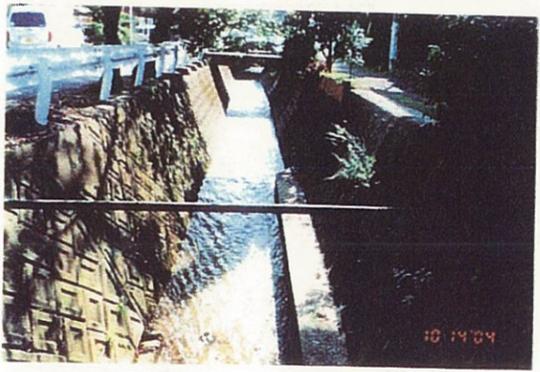
①海老橋より上流を望む



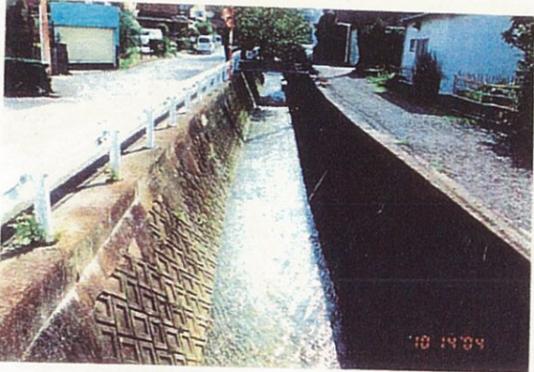
④この視点場から拡大



④この視点場より上流を望む

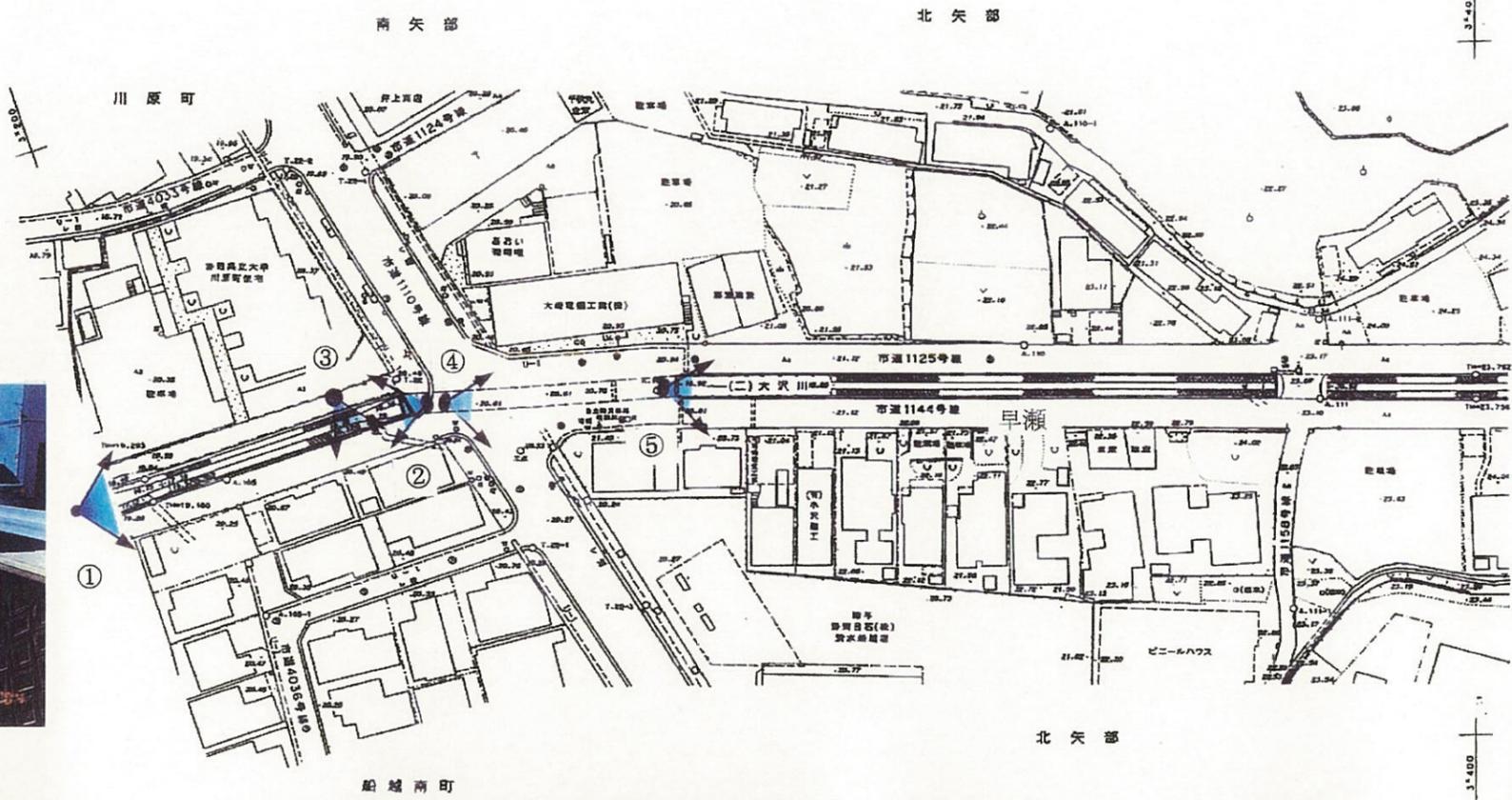


②この視点場より上流を望む



③この視点場より上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



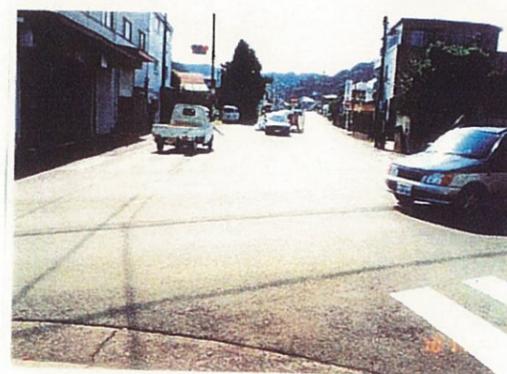
①この視点場より上流を望む



②この視点場より下流を望む



③落差工

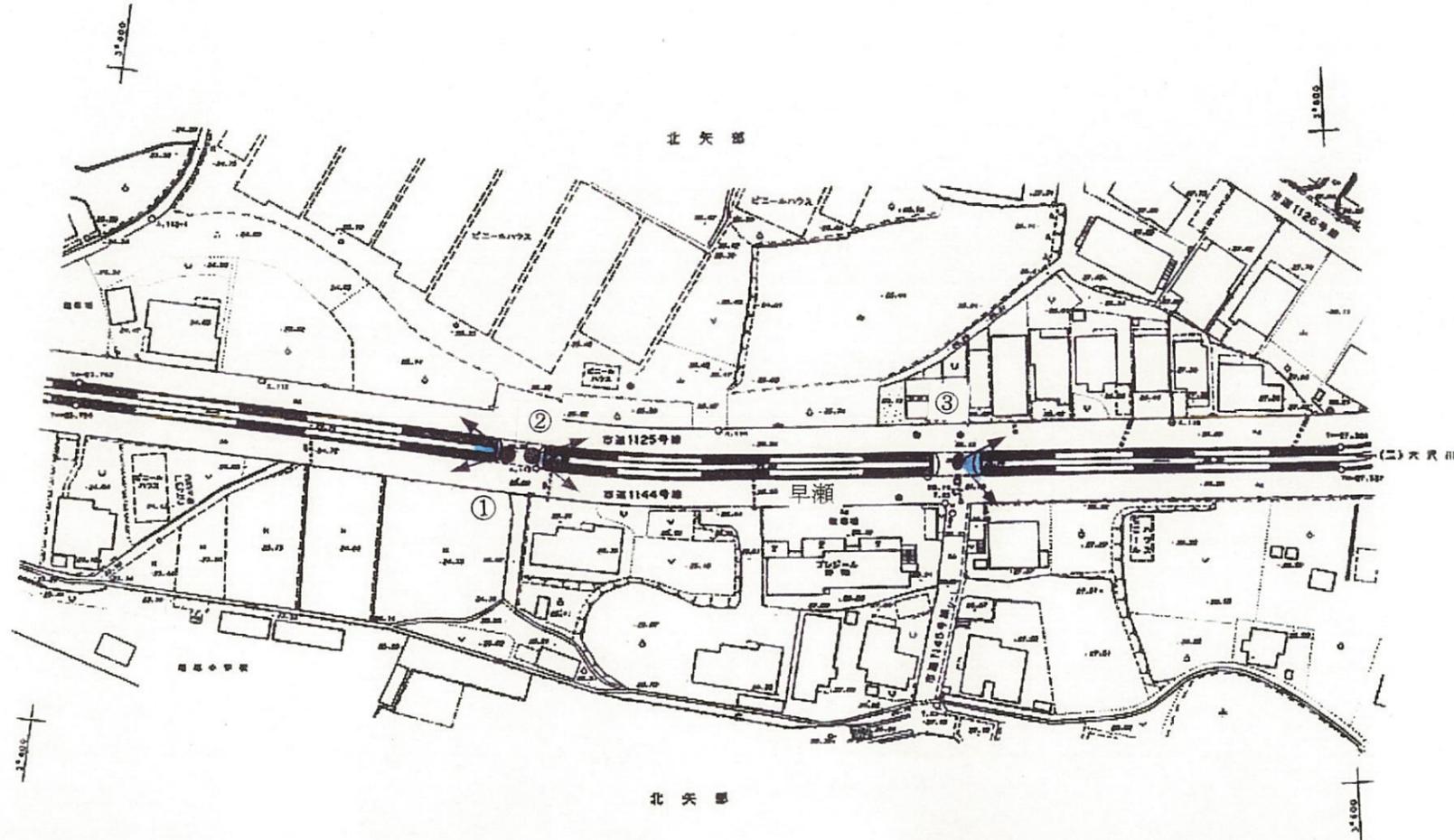


④この視点場より上流を望む



⑤この視点場より上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



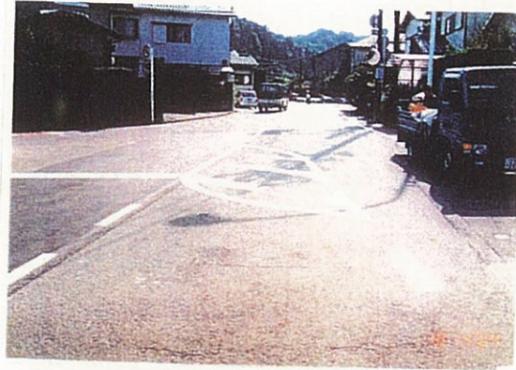
①この視点場より下流を望む



②この視点場より上流を望む



③小橋より上流を望む

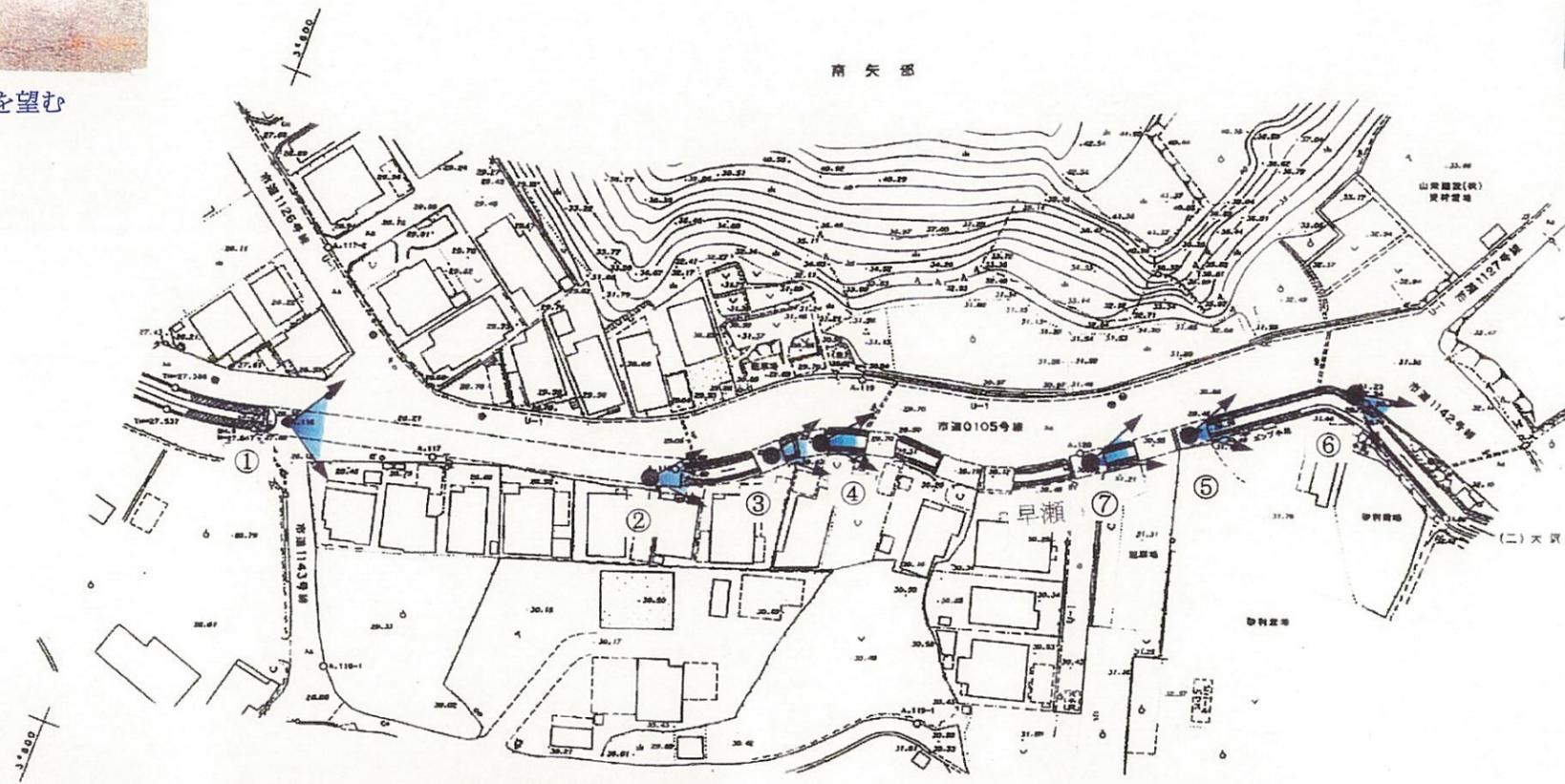


①この視点場より上流を望む

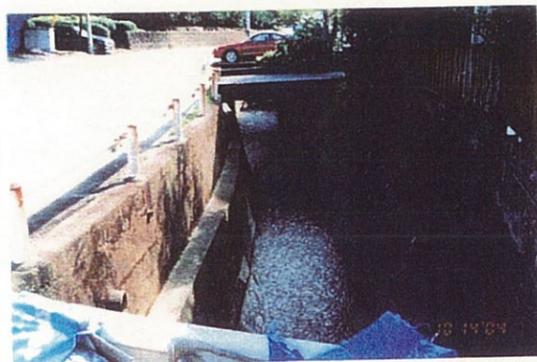


⑥この視点場より上流を望む

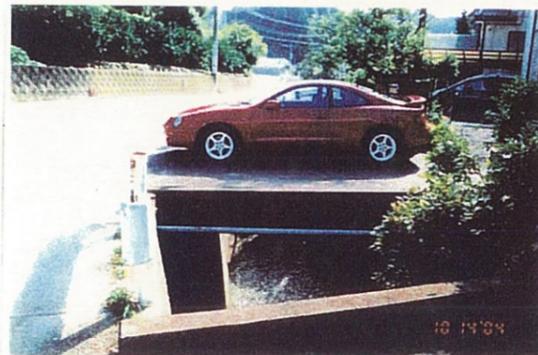
大沢川平面図 S = 1 : 1000



⑤この視点場より上流を望む



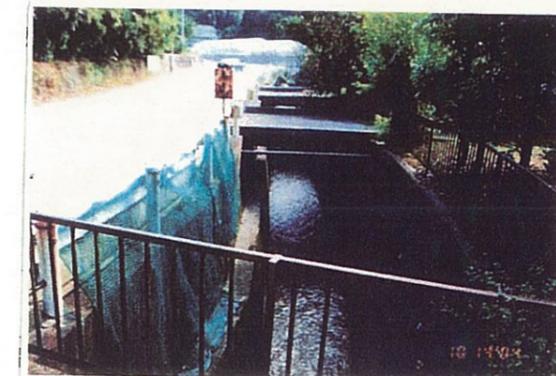
②この視点場より上流を望む



③この視点場より上流を望む



④この視点場より上流を望む



⑦この視点場より上流を望む

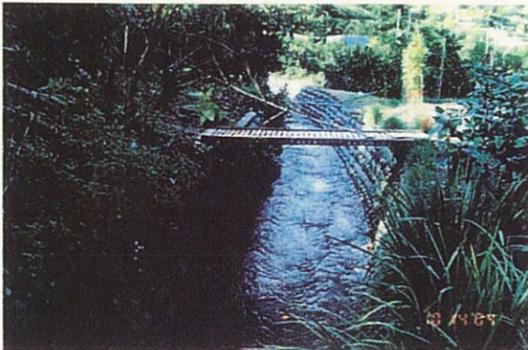
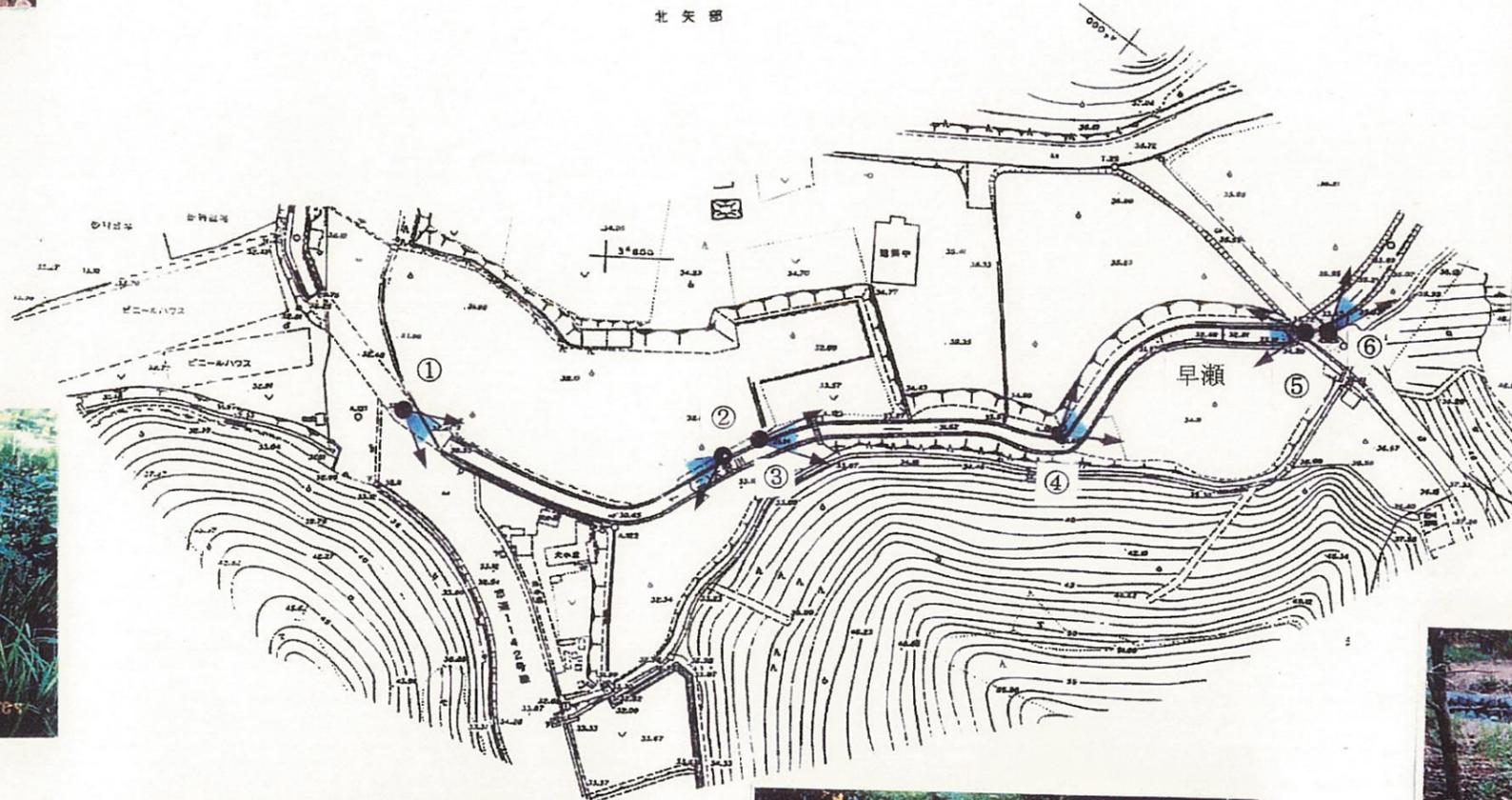
大沢川平面図 S=1:1000



①この視点場より上流を望む



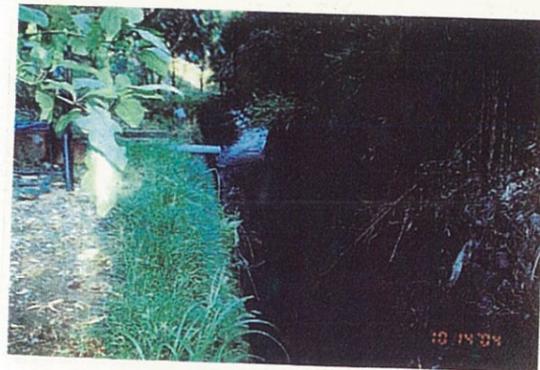
⑥小橋より上流を望む



②この視点場より下流を望む



⑤小橋より下流を望む



③この視点場より上流を望む



④この視点場より上流を望む

大沢川平面図 S=1:1000



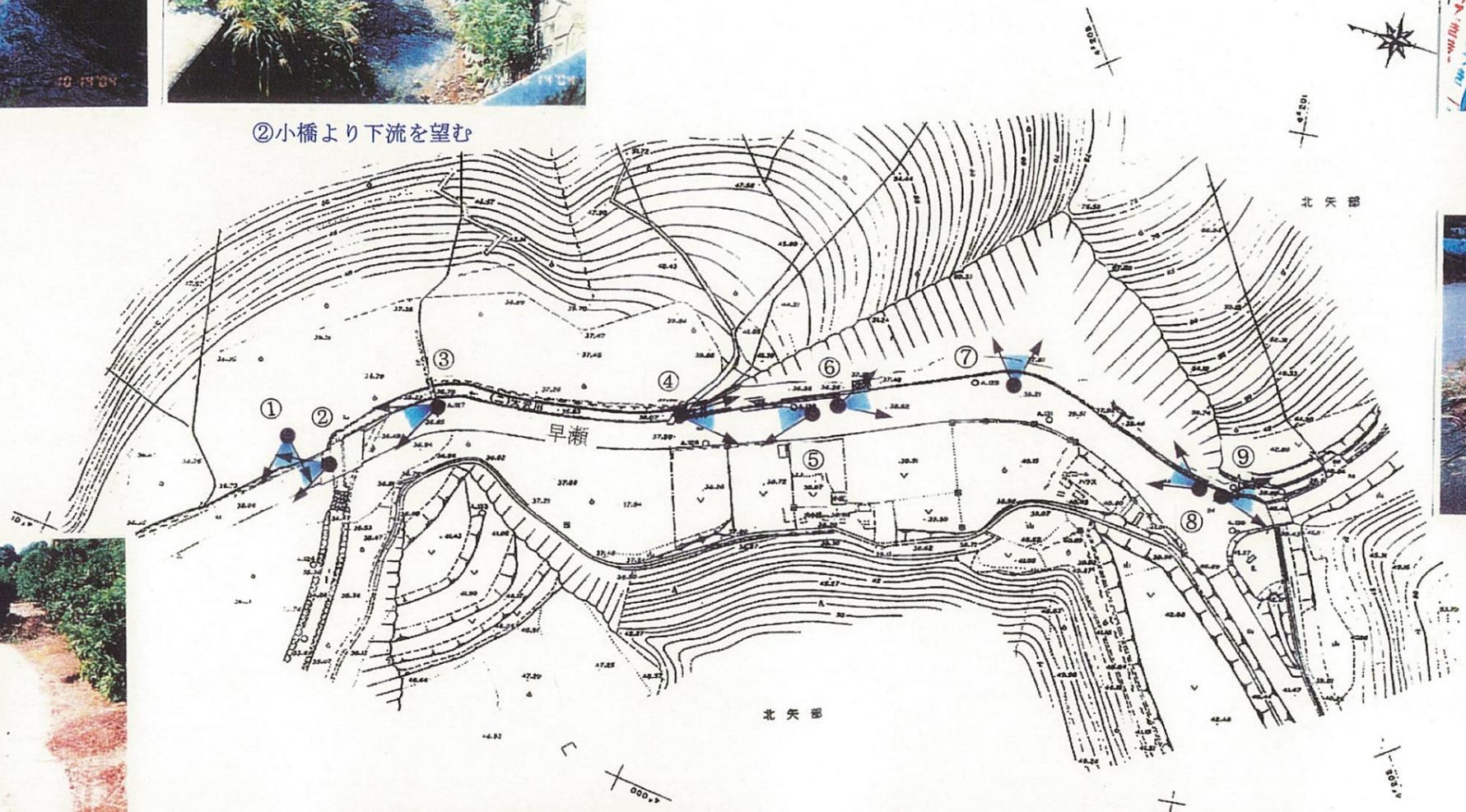
①落差工



②小橋より下流を望む



⑨起点の標示板



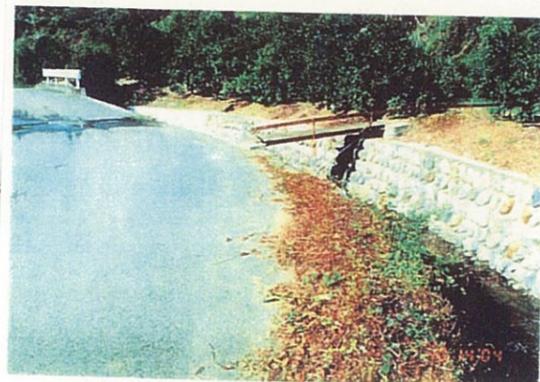
③この視点場より下流を望む



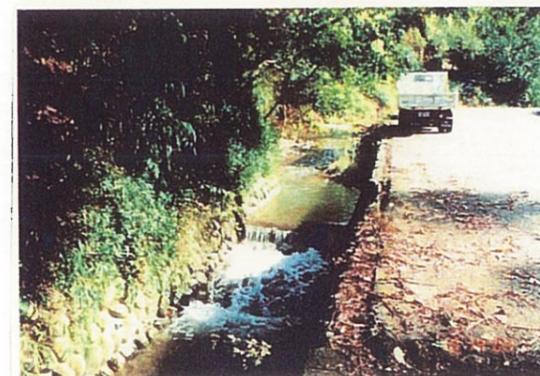
⑧この視点場より下流を望む



④小橋より上流を望む



⑤この視点場より下流を望む



⑥この視点場から上流に向って落差工が設けられている



⑦急傾斜地からの崩土